

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

資料 1 - 1

事業No.	111101	担当課室	各課室	
事業名	市民ふれあい講座の実施			
事業概要	市内の団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等の講座の実施			
R6の 取組内容	「防災・減災について」、「消費生活『こんなトラブルにご用心』」、「マイナンバー制度について」、「介護保険と高齢者福祉サービスの概要」等、全62項目の講座メニューにより実施			
評価内容	評価指標	市民ふれあい講座の実施回数		
	R5	評価	評価理由	毎年講座メニューの更新作業を行っており、令和6年度は全62項目の講座メニューにより実施した。
	23回	A		
	R6		今後の 課 題	今後も同様に市民ふれあい講座を実施する。
	25回			
事業No.	111102	担当課室	秘書広報室	
事業名	人権擁護に関する啓発事業			
事業概要	人権擁護委員と連携し、人権の尊重についての広報・啓発に努める。			
R6の 取組内容	令和6年11月30日、12月1日 人権週間と行政相談の合同啓発キャンペーンを開催			
評価内容	評価指標	人権擁護に関する啓発事業の実施の有無		
	R5	評価	評価理由	キャンペーン会場において、啓発物の配布と共に、不特定の一般の方の人権擁護や行政相談の周知を図った。
	有	B		
	R6		今後の 課 題	今後は他の会場でのキャンペーンなども検討していきたい。
	有			
事業No.	111103	担当課室	障害支援室	
事業名	精神保健大会の開催			
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、併せて社会福祉・精神保健の推進に貢献のあった方々を表彰し、感謝の意を表するための大会を開催する。これにより地域福祉の理解を促進する。			
R6の 取組内容	令和7年2月7日、第54回銚子市精神保健大会を開催（第61回銚子市社会福祉大会と合同開催） 市長感謝状1団体、精神保健対策協議会長感謝状3名。			
評価内容	評価指標	精神保健大会の開催の有無		
	R5	評価	評価理由	予定通り大会(表彰式及び講演会)を開催。
	有	A		
	R6		今後の 課 題	講演会への一般市民の動員など、大会内容の充実を図る。
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	111201	担当課室	秘書広報室
事業名	子ども人権教室の開催		
事業概要	教育委員会と連携をし、市内小・中学校を対象とした子ども人権教室を開催する。		
R6の 取組内容	令和6年度は、小学校5校と中学校2校の全7校で、人権教室を開催した。		
評価内容	評価指標	子ども人権教室の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	7回	A	
	R6		今後の 課 題
	7回		
		今後も継続して人権教室が開催できるよう、教育委員会や各学校の理解協力を図っていく必要がある。	
事業No.	111202 (211102)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	<学校における福祉教育の充実> 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	学校で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R6の 取組内容	地域の小学校、中学校での開催は毎年行っているところ3カ所と、大学で2回行った。 また、新規で高校にて1回開催できた。 職域（銀行）では毎年新入職員に対して開催しているものがあり2回行った。		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R5	評価	評価理由
	8回・222人	A	
	R6		今後の 課 題
	9回・197人		
		受講する生徒が興味を持って楽しく受講できるような工夫。	
事業No.	111203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	高齢者疑似体験		
事業概要	高齢者疑似体験装具を着用することで、加齢による身体的な変化を知り、高齢者に対する理解を促す。		
R6の 取組内容	小学生が認知症高齢者の学習の場で疑似体験を実施した。		
評価内容	評価指標	高齢者疑似体験の実施回数	
	R5	評価	評価理由
	2回	A	
	R6		今後の 課 題
	2回		
		小中学校などを対象とした認知症サポーター養成講座の中で、学校の要望に応じて対応する。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	111204	担当課室	指導室		
事業名	児童生徒に対する福祉・人権教育の推進				
事業概要	道徳、学級活動、総合的な学習の時間などを活用しながら人権教育を実施し、豊かな人間性の育成を図る。				
R6の取組内容	啓発資料の配付、相談窓口先、研修案内等を各小中学校及び高等学校へ周知した。				
評価内容	評価指標	児童生徒に対する福祉・人権教育の実施の有無			
	R5	評価	評価理由	道徳、学級活動、総合的な学習の時間等を活用し、福祉・人権教育を実施した。	
	有	A			
	R6		今後の課題	人権尊重の視点に立った学校づくりを心がけ、「自分の大切さ、他の人の大切さを認めること」を意識し、児童生徒の行動や態度に現れるような指導を行う。	
	有				
事業No.	112101	担当課室	各課室		
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信				
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。				
R6の取組内容	広報ちょうしは毎月1日発行、市ホームページ、公式LINEでは随時情報発信している。				
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無			
	R5	評価	評価理由	それぞれの媒体の特性に合わせた情報発信をしている。市ホームページは総合的な情報を掲載し、公式LINEは即時性、緊急性の高い情報をプッシュ型で発信、Instagramは、市の魅力発信、観光情報などを発信している。	
	有	A			
	R6		今後の課題	発信する情報も内容や件数など、市民が情報を正確、確実に受け取ってもらえるよう随時研究していく。	
	有				
事業No.	112101	担当課室	秘書広報室		
事業名	市ホームページや広報紙のほか様々な媒体を使った情報発信				
事業概要	情報発信を通して、地域福祉の理解を促進し、福祉意識を高める。				
R6の取組内容	広報ちょうしは毎月1日発行、市ホームページ、公式LINEでは随時情報発信している。				
評価内容	評価指標	市ホームページや広報紙などによる情報発信の有無			
	R5	評価	評価理由	それぞれの媒体の特性に合わせた情報発信をしている。市ホームページは総合的な情報を掲載し、公式LINEは即時性、緊急性の高い情報をプッシュ型で発信、Instagramは、市の魅力発信、観光情報などを発信している。	
	有	A			
	R6		今後の課題	発信する情報も内容や件数など、市民が情報を正確、確実に受け取ってもらえるよう随時研究していく。	
	有				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	121101	担当課室	総務室
事業名	町内会連合協議会運営支援		
事業概要	町内会連合協議会に対して事務面での側面支援を行うとともに、運営費補助金を支出する。		
R6の取組内容	定例総会等の各種行事に対する側面支援を行った。日帰り視察研修に対して補助金を支出した。		
評価内容	評価指標	町内会連合協議会運営費補助額	
	R5	評価	評価理由
	160,000円	A	
	R6		今後の課題
	160,000円		
		少子高齢化や人口減少に伴う、町内会活動の衰退	
事業No.	121201	担当課室	学校教育室 (市民センター)
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放し、社会体育の普及を図る。		
R6の取組内容	小中学校及び高等学校の施設をスポーツの場として住民に開放した。		
評価内容	評価指標	開放学校の利用の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	
	R6		今後の課題
	有		
		引き続き、円滑な制度の運用を図る。	
事業No.	121201	担当課室	(学校教育室) 市民センター
事業名	社会教育施設や開放学校などの公共施設の利用促進		
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設としての責務を果たし、施設の利用促進に努める。		
R6の取組内容	文科省からの社会教育法の解釈についての通知に基づき、公民館が営利事業に関わることを全面的に禁止するものではないという趣旨により、幅広く公民館の利用促進に努めた。		
評価内容	評価指標	社会教育施設の利用者数	
	R5	評価	評価理由
	59,408人	A	
	R6		今後の課題
	60,221人		
		利用者が高齢化しており、公民館活動だけでは今後利用者の減少が予想されるが、青少年文化会館が休館中のため、社会教育法の解釈の周知に基づき、民間企業等が有効に公共施設を活用できるよう検討する。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	121301	担当課室	社会福祉室
事業名	福祉まつりの開催支援		
事業概要	銚子市ボランティア連絡協議会が主催する「福祉まつり」の開催を支援する。		
R6の取組内容	市は、福祉まつりを後援。銚子市ボランティア連絡協議会からの要請を受け、社会福祉室職員が「福祉まつり」実行委員会会議に参画した。市福祉関連課が開催日当日のイベントメニューに参加、また、パンフレットの配置による各種制度の周知を行った。		
評価内容	評価指標	福祉まつりに対する支援の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	
	R6		今後の課題
	有		
			主催者は、市の共催を希望しているが、現状の民間主導の開催が適当であると思われる。
事業No.	121302	担当課室	子育て支援課
事業名	保育所の高齢者施設の訪問事業		
事業概要	地域における福祉活動の推進を図るため、保育所園児が老人福祉施設などを訪問し、世代間交流を行う。		
R6の取組内容	新型コロナウイルス感染症予防で事業を休止して以降、老人福祉施設などの訪問は再開していないが、地域の団体が行う高齢者のプラチナ体操を保育所内で年長児と一緒にいき、交流を図った。		
評価内容	評価指標	訪問事業の実施施設数	
	R5	評価	評価理由
	0件	B	
	R6		今後の課題
	3件		
			老人福祉施設などの訪問の再開を検討していく。
事業No.	121401	担当課室	障害支援室
事業名	障害者スポーツ大会の開催支援		
事業概要	障害者がスポーツを通じて、体力の維持・増強などを行うとともに、障害者相互の親睦交流を深め、また、一般住民の障害者に対する理解と関心を高揚することを目的としたスポーツ大会を開催する。（銚子市・旭市・匝瑳市合同）		
R6の取組内容	障害者スポーツの実行委員会からの開催案内について周知		
評価内容	評価指標	障害者スポーツ大会に対する支援の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	C	
	R6		今後の課題
	無		
			大会開催案内の周知範囲の検討。（従前から参加している障害者団体構成員の減少及び高齢化のため。）

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	121402	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	シニアクラブの活動促進			
事業概要	高齢者が自らの能力や経験を生かしながら、多様な社会参加ができるようシニアクラブ活動への支援を行う。			
R6の取組内容	銚子市シニアクラブ連合協議会及び各単位クラブ17クラブに運営費を補助した。また、グラウンドゴルフ大会・スポーツ大会・演芸大会等各活動に対する支援を行った。			
評価内容	評価指標	シニアクラブに対する支援の有無		
	R5	評価	評価理由	銚子市シニアクラブ連合協議会等に運営費を補助。その他各種行事の支援を実施した。
	有	B		
	R6			
	有		市のサポートを最小限にとどめ、役員中心の運営へ移行するよう支援をしていく必要がある。	
事業No.	121403	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	家族介護交流会・家族介護教室の開催			
事業概要	家族を介護する方や介護について学習したい方等を対象に、介護に関する知識や技術などを学ぶ交流会・教室を開催する。			
R6の取組内容	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座メニューとあわせ、3回1コースで実施した。すべての日程の参加者には修了証を交付（8人）した。介護に関する講義及び技術演習、介護予防と地域での支え合いのしくみについて講義を行った。			
評価内容	評価指標	家族介護交流会の開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	現在介護中の方や過去に介護をしていた方、地域の支え合いに興味がある方などの参加があった。講義や助け合い体験ゲーム、介護の経験談などから、地域の支え合いの必要性を参加者間で共有ができた。
	2回/延べ51人	A		
	R6			
	3回/延べ35人		参加人数を増やすため、周知方法を検討する。	
事業No.	121501	担当課室	障害支援室	
事業名	手話講習会の開催			
事業概要	ボランティア意識をもった地域住民を対象として、 ①銚子市・旭市・匝瑳市合同の委託事業である「海匠地区手話奉仕員養成講座」を開催する。 ②市社会福祉協議会の事業である「初級手話講習会」の開催を支援する。			
R6の取組内容	海匠地区手話奉仕員養成講座：講座4回・地域講座4回・実技講座19回、受講者6名 初級手話講習会：講座10回、受講者21名			
評価内容	評価指標	手話講習会の開催回数・受講者数		
	R5	評価	評価理由	受講者数が少ない。
	27回・12人 10回・19人	B		
	R6			
	27回・6人 10回・21人		受講者のフォローアップや取得した手話を実践できる場の創出。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	121502	担当課室	子育て支援課	
事業名	育児サークルの支援			
事業概要	育児のための情報交換や知識の普及、子育て親子の友達づくりなど、地域で自主的に活動している子育てサークルに情報提供を行う。			
R6の取組内容	活動の実態が把握できていないため、適切な情報提供が行えていない。			
評価内容	評価指標	育児サークルに対する支援の有無		
	R5	評価	評価理由	活動の実態が把握できていないため、適切な情報提供が行えていない。
	無	D		
	R6			
	無		活動の実態が把握できる体制の構築に努め、各サークルが必要とする情報を提供していきたい。	
事業No.	121503	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	介護予防・日常生活支援総合事業			
事業概要	65歳以上の方を対象に、一人ひとりの状態や必要性に合わせたさまざまなサービスを提供する。介護予防・生活支援サービス、地域で開催する通いの場等の一般介護予防事業を実施。			
R6の取組内容	多様なサービスとしては通所型サービスA（1箇所）及び訪問型サービスA（2か所）のみ。新たに通所型サービスCを立ち上げるため、情報収集を行った。			
評価内容	評価指標	介護予防・日常生活支援総合事業実施の有無		
	R5	評価	評価理由	新たなサービス創出には至らなかった。
	有	B		
	R6			
	有		従前サービス中心から多様なサービスへの移行。	
事業No.	121504 (222101)	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	<地域住民の自主的な活動と公共的サービスの連携> 生活支援コーディネーターの配置【重複】			
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制のコーディネート機能を充実させる。（日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者。）			
R6の取組内容	市内全域を担当する第1層生活支援コーディネーター（1名）及び各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターを3名配置。（内2名は新規配置） 新規配置した圏域（東部及び中央）については、圏域担当委託型包括と連携し、地区組織との関係の構築に努めた。			
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数		
	R5	評価	評価理由	全圏域に第2層生活支援コーディネーターの配置ができた。
	2人	A		
	R6			
	4人		全ての圏域で協議体（地域での支え合いについて住民同士で協議する場）の設置を目指す。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	122101	担当課室	高齢者福祉課			
事業名	銚子プラチナ体操等通いの場の支援及び設置の推進					
事業概要	地区の会場などに集まり、住民が主体的に行う「銚子プラチナ体操」など通いの場の支援及び設置を推進する。					
R6の取組内容	民生委員や町内会の総会、市民講座等で、プラチナ体操のチラシを配布し周知啓発を図った。福祉まつりでは、プラチナ体操を実際に参加者で行い、啓発をすることができた。また、包括支援センターの相談対応時等でも個々への周知を図った。 男性の通いの場についても、委託型地域包括支援センター職員と現状共有を行った。					
評価内容	評価指標	銚子プラチナ体操実施団体数				
	R5	評価	B	評価理由	年間目標を各圏域2か所計6か所とし、7か所と目標を達成した。	
	52団体 (毎週・隔週)	評価理由				年間目標を各圏域2か所計6か所とし、7か所と目標を達成した。
	R6			今後の課題	引き続き、新規団体数を目標値（各圏域に新規活動団体数2か所）確保に努める。	
	56団体 (毎週・隔週)					
事業No.	122102 (221102)	担当課室	高齢者福祉課			
事業名	<交流拠点の整備・確保> ふれあい交流サロン支援【重複】					
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」の事業費を補助する。					
R6の取組内容	ふれあい交流サロン事業費の補助。サロンでの講座等の支援。					
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数				
	R5	評価	B	評価理由	5か所のサロンで合計243回講座等を開催し、延参加者数2,557人。サロン増設による事業充実が必要。	
	5か所	評価理由				5か所のサロンで合計243回講座等を開催し、延参加者数2,557人。サロン増設による事業充実が必要。
	R6			今後の課題	サロンの増設の具体的な方法の検討。	
	5か所					
事業No.	122103	担当課室	高齢者福祉課			
事業名	認知症カフェ開設補助事業					
事業概要	認知症の方やその家族、地域住民、介護職員など誰もが集え、気軽に悩み相談や世間話などができるコミュニケーションの場である「認知症カフェ」の開設を支援するため、補助金を交付する。					
R6の取組内容	東部圏域に2か所、中央圏域に1か所、西部圏域に1か所でカフェを開催。認知症本人や地域住民、専門職が参加し、レクレーション等の交流を図っている。カフェそれぞれ自分たちに合った内容を取り入れ、継続した開催を維持している。					
評価内容	評価指標	認知症カフェの設置数				
	R5	評価	B	評価理由	高齢者に合わせた取り組みが、それぞれのカフェで実施できているため。	
	4か所	評価理由				高齢者に合わせた取り組みが、それぞれのカフェで実施できているため。
	R6			今後の課題	カフェの活動を活性化していきたい。	
	4か所					

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	122104	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	老人憩の家等の設置			
事業概要	高齢者の心身の健康の増進及び教養の向上並びに市民の福祉の増進を図るため、老人憩の家等を設置、運営する。			
R6の 取組内容	銚子市老人憩の家・地域福祉センター及び銚子市芦崎高齢者いきいきセンターを設置。指定管理者制度により、業務管理委託による運営をしている。指定管理者により、主催事業、入浴事業、地域の交流の場の提供等を実施している。			
評価内容	評価指標	老人憩の家の設置		
	R5	評価	評価理由	高齢者の健全な憩の場の確保と地域住民の交流の場として、円滑に管理運営を行っている。
	2か所	A		
	R6			
	2か所			
事業No.	122105	担当課室	保健事業室	
事業名	子育て広場の開設			
事業概要	乳幼児とその保護者が自由に集い、交流や情報交換をし、子育て等の悩みが相談できる場を提供する。			
R6の 取組内容	平日9～12時、水・木曜日の可能な日の13～16時にも開設。 保育士が常駐し、適宜遊びの提供・相談対応を実施。保育士のみで相談対応が困難な場合は保健師等へつなげている。			
評価内容	評価指標	子育て広場の開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	計画通り実施できた。
	312回・6,685人	A		
	R6			
	331回・6848人			
事業No.	122106	担当課室	都市整備室	
事業名	地元保存会による公園管理委託事業			
事業概要	公園内の除草等管理業務を地元保存会へ委託する。			
R6の 取組内容	地元公園保存会17団体へ除草等管理業務を委託した。			
評価内容	評価指標	地元公園保存会による公園管理委託数		
	R5	評価	評価理由	地元公園保存会17団体へ除草等管理業務を委託した。
	17団体	A		
	R6			
	17団体			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	122201	担当課室	障害支援室	
事業名	福祉タクシー利用助成事業			
事業概要	障害者等が通院、会合などのために使用するタクシー代を助成することにより、障害者等の移動を支援し、社会参加を促進する。			
R6の取組内容	令和6年度は、638人の障害者に対してタクシー券を交付。 （400円利用券×4枚／月（腎機能障害は16枚／月））			
評価内容	評価指標	福祉タクシー券交付者数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施した。
	657人	B		
	R6			
	638人			
事業No.	122202	担当課室	障害支援室	
事業名	福祉車両貸出事業			
事業概要	心身障害者及び高齢者等の社会参加の促進するため、その移動手段としてリフト付ワゴン車(福祉カー)を貸し出す。			
R6の取組内容	リフト付ワゴン車（福祉カー）の貸出しを行った。			
評価内容	評価指標	福祉カー貸出件数		
	R5	評価	評価理由	利用実績が少ない。
	20件	B		
	R6			
	14件			
事業No.	122203	担当課室	危機管理室	
事業名	運転免許証自主返納者支援事業			
事業概要	銚子警察署、公共交通機関と相互協力して高齢者の自動車運転免許証の自主返納を促進し、交通事故の減少を図る。			
R6の取組内容	自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。			
評価内容	評価指標	運転免許証自主返納者数		
	R5	評価	評価理由	自動車運転免許の返納の流れや特典について市HPで周知した。
	328人	A		
	R6			
	214人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	122204	担当課室	危機管理室	
事業名	高齢者安全運転支援装置設置補助事業			
事業概要	市内の高齢者を対象に、交通事故防止のため後付けによる安全運転支援装置の設置に係る費用を補助する。			
R6の取組内容	市内の高齢者を対象に、交通事故防止のため後付けによる安全運転支援装置の設置に係る費用の補助を実施した。			
評価内容	評価指標	高齢者安全運転支援装置設置補助金交付者数		
	R5	評価	評価理由	市HP、市広報、各事業者に周知した。
	5件	A		
	R6			
	6件			
事業No.	131101	担当課室	総務室	
事業名	コミュニティ助成事業費補助金交付事業			
事業概要	コミュニティ活動の促進を図るとともに自治意識の向上を目指すため、自治総合センターのコミュニティ助成金を財源として、コミュニティ団体に補助を行う。			
R6の取組内容	西小川町第二町内会に対して補助を実施した。			
評価内容	評価指標	コミュニティ助成事業費補助金交付団体数		
	R5	評価	評価理由	公募により選定したコミュニティ団体（町内会）に対して補助を実施した。
	1団体	A		
	R6			
	1団体			
事業No.	131102	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	第2層協議体「西部ふれあい会」の活動支援			
事業概要	地域住民が中心となって支え合いの仕組みを検討する生活支援コーディネーターによる地区協議体「西部ふれあい会」の活動を支援する。			
R6の取組内容	ふれあい会委員主催で地域住民が興味のあるテーマ（認知症や健康増進、防災など）にて講座を7回開催。 いこいセンターでの七夕飾りや書初めの展示を実施。 活動について地域住民に周知するため6中文化祭にて活動の様子を展示。また防災をテーマにスリッパや段ボールトイレの作成を行った。 委員が活動できるよう2層コーディネーターを中心として、高齢者福祉課職員や包括職員が協力し調整を図った。			
評価内容	評価指標	「西部ふれあい会」に対する支援の回数		
	R5	評価	評価理由	ふれあい会委員が各地域で住民に向けた取り組みについて検討し活動することができた。
	52回	A		
	R6			
	61回			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	131201	担当課室	総務室
事業名	町内会活動費等交付金交付事業		
事業概要	町内会の活動を活性化するために交付金を交付する。		
R6の取組内容	町内会活動費交付金 6,276,000円（300円×20,920世帯）		
評価内容	評価指標	町内会活動費等交付金額	
	R5	評価	評価理由
	6,321千円	A	
	R6		今後の課題
	6,276千円		
少子高齢化や人口減少に伴う、町内会活動の衰退			
事業No.	131301	担当課室	高齢者福祉課
事業名	地域ケア個別会議の開催		
事業概要	市や地域包括支援センターにおいて、支援が必要な高齢者の有効な支援策を検討し、個別課題の解決を図ることを主な目的とする地域ケア個別会議を開催する。		
R6の取組内容	市または地域包括支援センターが開催する会議。個別課題解決の必要があるケースや地域のネットワーク構築のための会議や自立支援・重度化防止に向けて軽度者または生活支援の援助が多いケアプラン等のケースを多職種で検討し、より良い支援やプランに生かした。		
評価内容	評価指標	地域ケア個別ケア会議の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	24回	B	
	R6		今後の課題
	22回		
個別ケース開催から地域課題を抽出し、地域づくりの会議へ繋げていく。			
事業No.	131302 (312101)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	<地域ニーズの把握> 実態把握事業【重複】		
事業概要	75歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防に視点をおいた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。		
R6の取組内容	訪問対象を80歳独居高齢者に変更。（75歳高齢者は比較的气元な方が多く働いている方や不在が多い）。 訪問対象が114人で訪問等で状況把握できたのは78人であった。		
評価内容	評価指標	独居高齢者の訪問による聞き取り件数	
	R5	評価	評価理由
	244人	B	
	R6		今後の課題
	78人		
訪問対象者に独居高齢者訪問の実施と目的について理解してもらえるような働きかけを行う。			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	132101	担当課室	障害支援室	
事業名	精神障害者ピアサポート事業の支援			
事業概要	同じような立場や境遇、経験を共有する仲間同士が支え合う事業。精神障害者のためのピアサポート事業を委託で実施。			
R6の取組内容	精神障害者ピアサポート事業を、「NPO法人精神保健福祉を支える会NEW」に委託して実施。			
評価内容	評価指標	ピアサポート事業実施団体に対する支援の有無		
	R5	評価	評価理由	ピアサポート事業実施団体に対する委託事業として継続的に実施。
	89人	B		
	R6			
	92人			
事業No.	132102	担当課室	子育て支援課	
事業名	ファミリー・サポート・センター会員同士の相互援助活動の支援			
事業概要	地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、緊急時の預かり、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズに対応する「ファミリー・サポート・センター」の会員の相互援助活動を支援する。			
R6の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業を市社会福祉協議会に委託し実施。			
評価内容	評価指標	ファミリー・サポート・センターに対する支援の有無・登録会員数		
	R5	評価	評価理由	市社会福祉協議会に事業運営委託で実施。市においても会員募集活動などを支援した。
	支援有・118人	B		
	R6			
	支援有・126人			
事業No.	132201 (412301)	担当課室	社会福祉室	
事業名	<ボランティア連絡協議会の機能強化> 社会福祉協議会運営費補助【重複】			
事業概要	ボランティア連絡協議会と連携を図る社会福祉協議会に対して運営費補助金を支出することにより、ボランティア連絡協議会を間接的に支援する。			
R6の取組内容	市は、R6年度は16,646千円の補助金を交付し、社会福祉協議会の運営を支援 社会福祉協議会は、ボランティア連絡協議会への助成金支出や福祉まつりの共催など連携を図った。			
評価内容	評価指標	社会福祉協議会運営費補助金額		
	R5	評価	評価理由	社会福祉協議会への補助金支出により、間接的にボランティア連絡協議会の運営を支援。また、ボランティア連絡協議会が主催する福祉まつりの開催にあたり、市担当課は企画段階から参画し、連携を図った。
	15,952千円	B		
	R6			
	16,646千円			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	211101	担当課室	障害支援室
事業名	地域生活支援促進事業（障害支援ボランティアの育成）		
事業概要	障害者等に対する地域のボランティア（支援者）の養成や活動を支援する。		
R6の取組内容	障害者支援の地域ボランティア育成の実施計画を作成し、地域との連携を模索した。		
評価内容	評価指標	障害支援ボランティアの人数	
	R5	評価	評価理由
	8人	B	
	R6		今後の課題
	12人		
			地域のボランティアが少なく、学生ボランティアが主となっている。今後は、地域のボランティア育成が必要。
事業No.	(111202) 211102	担当課室	高齢者福祉課
事業名	<実践を意識した福祉講座の充実を図る> 認知症サポーター養成講座の開催（学校や職域など）【重複】		
事業概要	地域や職域で、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポーター」を養成する講座を開催する。		
R6の取組内容	地域の小学校、中学校での開催は毎年行っているところ3カ所と、大学で2回行った。 また、新規で高校にて1回開催できた。 職域（銀行）では毎年新入職員に対して開催しているものがあり2回行った。		
評価内容	評価指標	認知症サポーター養成講座の開催回数・受講者数	
	R5	評価	評価理由
	8回・222人	A	
	R6		今後の課題
	9回・197人		
			受講する生徒が興味を持って楽しく受講できるような工夫。
事業No.	211103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座		
事業概要	住み慣れた場所で安心して豊かに暮らせる地域づくりを目指し、受講生自身の介護予防と地域での支え合いの仕組みについて学ぶ「介護予防・地域支え合いサポーター養成講座」を開催する。		
R6の取組内容	事業No.121403の事業に含む		
評価内容	評価指標	介護予防・地域支え合いサポーター養成講座の開催回数	
	R5	評価	評価理由
	1回	A	
	R6		今後の課題
	3回/1コース		
			参加人数を増やすため、周知方法を検討する。

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	211104	担当課室	保健事業室	
事業名	自殺対策強化事業（ゲートキーパーの育成）			
事業概要	地域住民が身近な人の心理的危機を早期に発見し、地域の自殺対策強化を図るための人材（ゲートキーパー）を育成する。			
R6の取組内容	R7.1.24 「ゲートキーパー養成講座 ～悩んでいる人への接し方～」 講師：木戸秋 明男 臨床心理士 対象者：食生活健康推進員（任期替えに伴いこころの健康づくりと、身近な人を見守ることの大切さを目的として実施）			
評価内容	評価指標	ゲートキーパーの人数		
	R5	評価	評価理由	計画通り実施できた。
	18人	A		
	R6			
	58人		対象とする者の見直しをし、地域全体で予防啓発となるように広く周知していく	
事業No.	212101 (421302)	担当課室	危機管理室	
事業名	<リーダー研修の実施> 防災士の育成支援（防災ワークショップの開催）【重複】			
事業概要	防災士の資質向上を図るためのフォローアップの取組として、防災講座や防災ワークショップなどを開催する。			
R6の取組内容	・令和6年5月19日（日）銚子防災士会設立総会記念講演「令和6年能登半島地震から銚子市の地震・津波防災を考える～銚子防災士会に期待する「協働」の取り組み～」 ・令和6年11月9日（土）千葉県防災研修センター主催 防災セミナー「シニア世代のための防災活動セミナー」 上記2つを令和6年度の防災士フォローアップ講座として実施した。			
評価内容	評価指標	防災ワークショップの開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	高齢者世帯の防災対策や能登半島地震の被災地の状況などから銚子市の防災を考えた講義を受講することで防災士の資質向上を図ることができた。
	1回・22人	A		
	R6			
	2回・35人		参加者が毎回同じ方が多いので、開催日時や周知方法を工夫し、多くの防災士に参加していただくようにする必要がある。	
事業No.	212102	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	認知症地域支援推進員の配置と活動の推進			
事業概要	認知症施策の推進役、地域における認知症の人の医療・介護等の支援ネットワーク構築の要役となる「認知症地域支援推進員」を配置するとともに活動の推進を図る。			
R6の取組内容	基幹型及び委託型地域支援センターに認知症地域支援推進員を配置。認知症地域支援推進員が中心となり、認知症施策を考える会を主催し、認知症施策の推進に向けた取組みを行った。（認知症サポーター養成講座の開催、アルツハイマー月間での認知症に関する啓発活動を実施）			
評価内容	評価指標	認知症地域支援推進員の人数		
	R5	評価	評価理由	認知症地域支援推進員の必要人数は確保できている。
	13人	A		
	R6			
	13人		認知症施策推進の要となるため、全ての地域包括支援センターに配置する。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	212103	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	介護予防・地域支え合いサポーターを対象としたフォローアップ講座			
事業概要	隣近所で「さりげない気配り」「ちょっとした目配り」をする地域づくりの応援者である「介護予防・地域支え合いサポーター」を対象としたフォローアップ講座を開催する。			
R6の取組内容	年1回開催。サポーターが、介護予防に関する取り組みとしてについてグループワークで検討し、活動内容を決定した。福祉まつりや一体的事業の立ち寄り型の場所に出向き、実践することができた。			
評価内容	評価指標	フォローアップ講座の開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	介護予防に関する活動内容をサポーターが決定し、実践することができた。
	1回・21人	B		
	R6		今後の課題	今後は、地域の困り事に対しサポーターを繋げる体制づくり。
	1回・21人			
事業No.	221101	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	チームオレンジ結成に向けた準備			
事業概要	認知症サポーターがチームを編成し、認知症の人や家族に対する生活支援を行うボランティア組織の結成に向けた準備、検討を行う。			
R6の取組内容	認知症考える会を2回開催。地域包括支援センター職員やオレンジカフェ運営者・認知症地域支援推進員・千葉県認知症コーディネーターと結成に向けて協議。県主催のチームオレンジコーディネーター研修に参加し、他市町村の取り組みを把握。			
評価内容	評価指標	チームオレンジ結成に向けた取組の有無		
	R5	評価	評価理由	チームオレンジの立ち上げ方や活動内容の協議ができた。
	有	B		
	R6		今後の課題	チームオレンジのメンバー選定や活動の具体化が必要。
	有			
事業No.	(122102) 221102	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	<高齢者等の社会参加> ふれあい交流サロン支援【重複】			
事業概要	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」を支援し、高齢者の居場所を確保するとともに、社会参加を促進する。			
R6の取組内容	「地域の茶の間」として、地域の誰もが通える、身近で気軽な集いの場である「ふれあい交流サロン」の事業費を補助する。			
評価内容	評価指標	ふれあい交流サロンの設置数		
	R5	評価	評価理由	5か所のサロンで合計243回講座等を開催し、延参加者数2,557人。サロン増設による事業充実が必要。
	5か所	B		
	R6		今後の課題	サロンの増設の具体的な方法の検討。
	5か所			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	221103	担当課室	高齢者福祉課
事業名	シルバー人材センターの運営事業費補助		
事業概要	高齢者の能力や経験を活かした就業機会の増大を図るとともに、多様な社会参加ができるようシルバー人材センターの活動支援を行う。		
R6の取組内容	銚子市シルバー人材センターに対する運営事業費補助金を交付した。		
評価内容	評価指標	シルバー人材センター運営事業費補助の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	
	R6		今後の課題
	有		
			シルバー人材センターの会員及び受託業務が減少している。
事業No.	221201 (512101)	担当課室	高齢者福祉課
事業名	<各種講座の充実> めざせ！元気シニア講座の開催【重複】		
事業概要	地域の誰もが参加でき、介護予防に取り組む通いの場となる「めざせ！元気シニア講座」を開催する。		
R6の取組内容	プラチナ体操の立ち上げを検討している団体に対し、地域の現状や一般介護予防の必要性を講義し、プラチナ体操の体験を行った。		
評価内容	評価指標	めざせ！元気シニア講座の開催回数・参加人数	
	R5	評価	評価理由
	2回・32人	B	
	R6		今後の課題
	6回・47人		
		プラチナ体操新規団体発足の為、立ち上げ未地区などに対し積極的に開催していく。	
事業No.	(121504) 222101	担当課室	高齢者福祉課
事業名	<ボランティアコーディネーター機能の充実を図る> 生活支援コーディネーターの配置【重複】		
事業概要	日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置し、生活支援・介護予防サービスの提供体制のコーディネーター機能を充実させる。（日常生活圏域：日常生活を営んでいる地域として、地理的条件、人口、介護サービス提供状況などを勘案して定める区域。生活支援コーディネーター：生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす者。）		
R6の取組内容	市内全域を担当する第1層生活支援コーディネーター（1名）及び各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターを3名配置。（内2名は新規配置） 新規配置した圏域（東部及び中央）については、圏域担当委託型包括と連携し、地区組織との関係の構築に努めた。		
評価内容	評価指標	生活支援コーディネーターの人数	
	R5	評価	評価理由
	2人	A	
	R6		今後の課題
	4人		
		全ての圏域で協議体（地域での支え合いについて住民同士で協議する場）の設置を目指す。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	222201	担当課室	総務室	
事業名	ちばボランティアナビ、ボランティア・NPOに関する出前講座（県主催）の周知			
事業概要	県主催のボランティア等関連出前講座やセミナー等を周知する。			
R6の 取組内容	引き続き市ホームページにおける周知に努めた。			
評価内容	評価指標	県主催のNPOに関する出前講座等の周知の有無		
	R5	評価	評価理由	市ホームページによる周知を図った。
	有	B		
	R6			
	有		より効果的な周知方法等について検討する必要がある。	
事業No.	222301 (421201)	担当課室	危機管理室	
事業名	<ボランティア・NPOの活動支援> 自主防犯組織支援事業【重複】			
事業概要	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援する。			
R6の 取組内容	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助し、自主防犯組織の活動を支援した。			
評価内容	評価指標	自主防犯組織の団体数・支援の有無		
	R5	評価	評価理由	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助した。
	10団体・支援有	A		
	R6			
	10団体・支援有		構成員の高齢化等による団体数の減少	
事業No.	222302 (421202)	担当課室	危機管理室	
事業名	<ボランティア・NPOの活動支援> 防犯指導員連絡協議会事業費補助【重複】			
事業概要	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助し、地域の防犯体制の強化を図る。			
R6の 取組内容	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。			
評価内容	評価指標	防犯指導員連絡協議会事業費補助額		
	R5	評価	評価理由	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。
	200千円	A		
	R6			
	200千円		防犯指導員の高齢化、後継者の不足	

地域福祉計画取組状況確認票（R 6）

事業No.	222303	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	ボランティア・NPOとの連携と活動支援			
事業概要	住民が主体となり、多様なメンバーが集まり、地域で取り組む活動などを話し合う「地域支え合い推進会議」を開催する。また、ボランティア連絡協議会やNPO法人与連携し、地域における支え合い活動を推進する。			
R6の 取組内容	健康づくり・地域支え合い推進専門部会（介護予防・地域支え合いを統合）を2回開催。地域における支え合い活動推進に向け協議をした。			
評価内容	評価指標	ボランティア・NPOとの連携及び活動支援の有無		
	R5	評価	評価理由	会議において、地域におけるお互い様の支え合いのために養成するサポーターの講座やフォローアップ講座、実際の活動に向けた話し合いができた。
	有	A		
	R6		今後の 課 題	支え合いだけでなく、介護予防と一体的に継続して実施していく。
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	311101	担当課室	秘書広報室	
事業名	人権相談の実施			
事業概要	人権擁護委員11名で年12回(月1回)の人権特設相談を設置。			
R6の取組内容	毎月、第3水曜日に人権・行政合同相談を実施している。			
評価内容	評価指標	人権相談件数		
	R5	評価	評価理由	少ない相談件数だが、人権擁護委員により丁寧な相談対応を実施している。
	2件	A		
	R6		研修などを通じて人権擁護委員のスキルアップを図っていく。	
	2件			
事業No.	311102 (423101)	担当課室	社会福祉室	
事業名	<相談窓口の整備> 生活困窮者自立支援事業「ちょうしサポートセンター」の運営委託【重複】			
事業概要	生活困窮、長期失業、家族のひきこもり、就労経験不足など心、家庭、健康上などの問題に対し、相談、課題評価・分析、支援計画作成、自立支援を行う窓口の整備。			
R6の取組内容	生活困窮者自立支援業務をNPO法人socialmateに委託し、「ちょうしサポートセンター」を運営			
評価内容	評価指標	生活困窮者自立支援相談件数		
	R5	評価	評価理由	継続的に新規相談を受け付けており、支援が必要な方へのサポートは一定程度できている。一方で、生活困窮から抜け出せず、生活保護に至る方も少なくはなく、取組のますますの推進が必要
	120件	B		
	R6		生活困窮者自立支援制度として、現在実施している「自立相談支援事業」に加え、任意事業で未実施である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施を目指す。	
	128件			
事業No.	311103	担当課室	社会福祉室	
事業名	民生委員・児童委員の活動支援			
事業概要	地域住民の身近な相談者である民生委員・児童委員がスムーズに活動できるよう環境整備など支援を行う。			
R6の取組内容	市費により委員の活動費を支給。民生委員児童委員協議会に対しては、県補助金を財源として運営費補助金を交付した。また、必要に応じて担当課職員が協議会理事会などの会議に参加した。			
評価内容	評価指標	民生委員・児童委員に対する支援の有無		
	R5	評価	評価理由	活動支援のための活動費や補助金の支出、各種会議等への参加を継続して実施した。
	有	B		
	R6		今年度11月、3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選を迎える。委員のなり手不足や高齢化が問題化しており、委員の交代に際し、後任の選出が難航するおそれがある。協議会任せにすることなく、市においても人材発掘に努める。	
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	311104	担当課室	障害支援室	
事業名	基幹相談支援センターの運営			
事業概要	地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を総合的、専門的に行うほか、権利擁護や虐待防止のために必要な援助を行う「銚子市障害者基幹相談支援センター」を運営する。			
R6の取組内容	身体障害者、知的障害者及び精神障害者などの相談支援に関する業務を実施。			
評価内容	評価指標	基幹相談支援センターにおける相談件数		
	R5	評価	評価理由	相談支援業務を実施しているが、年々相談の件数だけでなく内容も複雑多様化しており、センター職員の人員配置の充実が求められる。
	5,511件	B		
	R6			
	4,122件			
事業No.	311105	担当課室	障害支援室	
事業名	地域活動支援センターの運営委託			
事業概要	障害者が自宅から通い、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供する「地域活動支援センター」を運営する。			
R6の取組内容	地域活動支援センターⅠ型をNPO法人精神保健福祉を支える会NEWに、地域活動支援センターⅡ型をNPO法人スマイル銚子に運営委託。			
評価内容	評価指標	地域活動支援センターの委託か所数		
	R5	評価	評価理由	令和5年度に新たに開設したⅡ型を含め、6年度も2か所体制を継続。
	2か所	A		
	R6			
	2か所			
事業No.	311106	担当課室	障害支援室	
事業名	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）			
事業概要	障害者の高齢化・重度化や、「親亡き後」を見据えて、住み慣れた地域で安心して生活するための仕組み。（緊急事態対応の相談、対応（一時的な受け入れの調整・支援の手配）、体験の機会（グループホームなどの体験利用）、専門的人材の確保・養成）			
R6内容	まるっとシステム（地域生活支援拠点等事業）をNPO法人あおぞらに委託して実施。			
評価内容	評価指標	まるっとシステムの利用登録者数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施した。委託事業所と定期的に連絡会を実施し、課題の検討を進めた。
	24人	A		
	R6			
	34人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	311107	担当課室	子育て支援課	
事業名	私立地域子育て支援センター運営費補助			
事業概要	子育て相談等に対応するため、地域子育て支援センターの運営費に対し、補助金を交付し支援をする。			
R6の取組内容	私立保育園の実施する地域子育て支援センター4か所に対し、補助金の交付を行った。			
評価内容	評価指標	私立地域子育て支援センターの設置数		
	R5	評価	評価理由	子育て中の親子に遊び場の提供と育児相談等の支援を実施する地域子育て支援センター4か所に対し、補助金の交付を行った。
	4か所	A		
	R6			
	4か所			
事業No.	311108	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置、運営			
事業概要	包括的・継続的な支援を行う地域包括ケアを実現するための中心的役割を担う機関である「地域包括支援センター」を設置し、運営する。			
R6の取組内容	4月基幹型地域包括支援センター事業を提示の上、委託型地域包括支援センターごとに事業計画を作成、提出。 10月計画進捗確認を基幹型及び委託型で実施。 2月委託型地域包括支援センターの業務評価と業務点検を実施。 2月地域包括支援センター運営協議会(書面開催)で業務評価の結果報告を実施し、委員より書面にて意見を頂いた。			
評価内容	評価指標	基幹型・委託型地域包括支援センターの設置数		
	R5	評価	評価理由	地域包括支援センター業務の質の向上、公正中立性が確保できるよう、業務チェックシートを活用し、自己評価と行政評価を合わせ業務点検を実施した。新たに、活動回数や事業実施量を新たに追加し、評価を実施。
	4か所	A		
	R6			
	4か所			
事業No.	311109	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	在宅医療・介護連携支援センターの設置、運営			
事業概要	地域の在宅医療・介護連携についての相談窓口を担う「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、運営する。			
R6の取組内容	医療介護推進事業の実施（医療介護連携シートの活用、SNSを活用した連携の検討、医療介護連携ハンドブックの改訂について検討、医療と介護をつなぐ研修会の開催（R6は延期）、介護支援専門員等からの相談対応）			
評価内容	評価指標	在宅医療・介護連携支援センターの設置数		
	R4	評価	評価理由	関係機関と連携を図りながら実施することができた。
	1か所	B		
	R5			
	1か所			
事業No.	311110	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	在宅医療・介護連携支援センターの設置、運営			
事業概要	地域の在宅医療・介護連携についての相談窓口を担う「在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、運営する。			
R6の取組内容	医療介護推進事業の実施（医療介護連携シートの活用、SNSを活用した連携の検討、医療介護連携ハンドブックの改訂について検討、医療と介護をつなぐ研修会の開催（R6は延期）、介護支援専門員等からの相談対応）			
評価内容	評価指標	在宅医療・介護連携支援センターの設置数		
	R4	評価	評価理由	関係機関と連携を図りながら実施することができた。
	1か所	B		
	R5			
	1か所			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	311110	担当課室	保健事業室	
事業名	子育て世代包括支援センター「すくサポ」・子ども家庭総合支援拠点における相談事業			
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な相談や切れ目のない支援を行う、子育て世代包括支援センター「すくサポ」と、18歳未満のすべての子どもとその家庭及び妊産婦等からの様々な心配事についての相談・支援に応じる「子ども家庭総合支援拠点」を運営する。			
R6の取組内容	各種母子保健事業による対応、子育てコンシェルジュによる個別相談支援や保育所との連携。 特定妊婦や養育困難・虐待に対する個別対応。 その他、支援が必要なケースに対する対応。			
評価内容	評価指標	「すくサポ」相談件数・「子ども家庭総合支援拠点」相談件数		
	R5	評価	評価理由	随時相談対応をしていくことができた。
	529件・1,136件	A		
	R6		今後の課題	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を維持し一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」を令和7年度に設置。改めて相談対応の充実に努める。
	433件・1,032件			
事業No.	31111	担当課室	保健事業室	
事業名	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）			
事業概要	各種相談事業（健康づくり相談、こころの健康相談、乳幼児健康相談）を実施する。			
R6の取組内容	・健康づくり相談：毎月1回午前中実施。個々の健康問題や疑問に沿った個別性の高い健康相談を実施した。 ・こころの健康相談：毎月第2火曜日午後臨床心理士による相談を実施。多職種と連携し支援を実施した。 ・乳幼児健康相談：毎月第3木曜日午後実施。乳幼児健康診査後のフォローや、保護者の育児上の問題解決を行った。			
評価内容	評価指標	健康づくり相談件数・こころの健康相談件数・乳幼児健康相談件数		
	R5	評価	評価理由	健康づくり相談：対象者のニーズに応じた健康相談を実施できた。 こころの健康相談：多職種連携しながら対象者を手厚く支援できた。 乳幼児健康相談：乳幼児健康診査後のフォローや、保護者の育児相談の場として機能できた。
	21件・11件・87件	A		
	R6		今後の課題	健康づくり相談：利用者の獲得を行う。希望する方が利用できるよう周知を徹底する。 こころの健康相談：件数が減少してきているため、相談の周知を行い必要としている方が利用できるように支援する。 乳幼児健康相談：新規利用者確保のため、引き続き広報等にて周知を行う。
	19件・12件・128件			
事業No.	311112	担当課室	産業振興室	
事業名	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催			
事業概要	就労支援相談員による出張相談			
R6の取組内容	NPO法人が定期的に行う「地域若者サポートステーション事業」による相談会の開催を支援した。			
評価内容	評価指標	地域サポートステーション（サポステ）による相談会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	年始休みを除き、毎月2回の定期開催を行った。
	23回	A		
	R6		今後の課題	引き続き、適正な支援を実施する。
	23回			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	311113	担当課室	産業振興室	
事業名	中小企業相談所（銚子商工会議所）の運営支援			
事業概要	中小企業に対して経営改善等を支援する「中小企業相談所」（銚子商工会議所）の活動を支援することで、市内商工業の振興及び地域の総合的な発展を図る。			
R6の取組内容	中小企業相談所事業費補助金を交付し、市内中小企業の経営改善に係る取組を支援する。			
評価内容	評価指標	中小企業相談所に対する支援の有無		
	R5	A	評価理由	銚子市中小企業相談所事業費補助金 令和6年度交付額3,600,000円
	有			
	R6		今後の課題	引き続き、適正な支援を実施する。
	有			
事業No.	311114 (422201)	担当課室	消費生活センター	
事業名	<相談窓口の整備> 消費生活センターの運営【重複】			
事業概要	消費生活相談員による消費生活相談			
R6の取組内容	相談業務及び苦情等への適切かつ迅速な対応と処理			
評価内容	評価指標	消費生活センター相談件数		
	R5	評価	評価理由	適正かつ迅速な対応と処理の遂行。
	576件	A		
	R6		今後の課題	引き続き、適正かつ迅速な対応と処理を実行する。
	573件			
事業No.	311201	担当課室	社会福祉室	
事業名	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討整備			
事業概要	相談支援において、各分野に固定することなく、「福祉」という包括的な枠組みで捉え、総合的な情報提供や相談体制を構築する。			
R6の取組内容	地域福祉推進幹事会を3回開催 （主な議題：地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、引きこもり者の支援について） 参加関係課：社会福祉協議会・総務室（第1回、第3回）・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課・産業振興室（第2回、第3回）・学校教育室（第3回）			
評価内容	評価指標	複合的な課題に対応できる相談支援体制の検討の有無		
	R5	評価	評価理由	会議を重ねる中で「複合的相談支援体制」の構築等、課題の共有は進んでいるものの、具体的な議論や検討にはまだ至っていない。
	無	C		
	R6		今後の課題	地域福祉推進幹事会での議論や検討を継続し、行政だけではなく、市民や関係機関を巻き込みながら複合的相談支援体制の検討・構築する必要がある。
	無			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(131302) 312101	担当課室	高齢者福祉課		
事業名	<訪問型の支援活動の推進> 実態把握事業【重複】				
事業概要	75歳以上の独居高齢者（介護保険サービスを受けていない人）等の自宅を訪問し、要介護状態にならないよう介護予防を視点においた支援を行うとともに、委託型地域包括支援センターなどの相談窓口を周知する。実態把握を通し、担当圏域の地域特性や高齢者のニーズ把握をするのも目的の一つである。				
R6の 取組内容	訪問対象を80歳独居高齢者に変更。（75歳高齢者は比較的元気な方が多く働いている方や不在が多い）。 訪問対象が114人で訪問等で状況把握できたのは78人であった。				
評価内容	評価指標	独居高齢者世帯への訪問件数			
	R5	評価	評価理由	対象者を変更したことで、独居高齢者訪問対象数及び聞き取り調査数が減少してしまった。地域の特性把握には至らなかった。 不在が多い課題については、対象年齢を引き上げても同じであった。	
	244人	B			
	R6		今後の 課 題	訪問対象者に独居高齢者訪問の実施と目的について理解してもらえるよう な働きかけを行う。	
	78人				
事業No.	312201 (412101)	担当課室	社会福祉室		
事業名	<制度のはざまの課題への対応> 地域福祉推進幹事会の取組強化【重複】				
事業概要	社会福祉、子育て、高齢者、健康、保健、医療、教育、防災、環境、市民活動など各分野をまたぐ問題や、そのはざまにある問題について、庁内関係課で組織する「地域福祉推進幹事会」で検討、解決すべく取り組む。				
R6の 取組内容	地域福祉推進幹事会を3回開催 （主な議題：地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、引きこもり者の支援について） 参加関係課：社会福祉協議会・総務室（第1回、第3回）・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課・産業振興室（第2回、第3回）・学校教育室（第3回）				
評価内容	評価指標	地域福祉推進幹事会の開催回数			
	R5	評価	評価理由	会議を重ねる中で、課題のテーマは明確になりつつあるものの、具体的な手段や方法までの議論には至っていない。	
	1回	C			
	R6		今後の 課 題	会議での議論を継続しながら、関係各課室との連携を密にし、「制度のは ざま問題」を抽出し、具体的な解決策の検討・実施に向け取り組む。	
	3回				
事業No.	321101	担当課室	社会福祉室		
事業名	地域福祉推進協議会の設置検討				
事業概要	地域福祉の推進を目的の一つとした「地域福祉推進協議会」の設置を検討する。				
R6の 取組内容	R5.3 銚子市附属機関の設置等に関する条例に「銚子市地域福祉推進協議会」を規定 R6.7.31 第1回「銚子市地域福祉推進協議会」を開催 R7.1.27 第2回 //				
評価内容	評価指標	地域福祉推進協議会の設置の有無（開催回数）			
	R5	評価	評価理由	「銚子市地域福祉推進協議会」設置し、地域福祉の推進に向けた会議を継続的に実施している。	
	設置 (2回)	A			
	R6		今後の 課 題	協議会会議における地域福祉推進に関する具体的な課題の抽出・深掘り	
	設置 (2回)				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	321102	担当課室	社会福祉室	
事業名	自立相談支援調整会議の開催			
事業概要	関係機関のネットワークを構築し、生活困窮者に対する自立の支援を図るために必要な情報の交換を行うとともに、生活困窮者が地域において日常生活及び社会生活を営むのに必要な支援体制に関する検討を行う会議の開催。			
R6の取組内容	生活困窮者自立支援業務の受託者であるNPO法人socialmateが主となり、ハローワーク、社会福祉協議会、精神科医療機関（銚子こころクリニック）、市社会福祉課（生活困窮者自立支援担当・生活保護担当）で構成する「自立支援調整会議」を12回開催した。			
評価内容	評価指標	自立相談支援調整会議の開催回数		
	R5	評価	評価理由	関係機関のネットワークを構築し、月1回ペースで定期的に会議を開催している。
	12回	A		
	R6		今後の課題	必要な場合、さらに広い分野の関係機関との連携を検討する。
	12回			
事業No.	321103	担当課室	障害支援室	
事業名	銚子市地域自立支援協議会の運営			
事業概要	関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行う「銚子市地域自立支援協議会」の運営。			
R6の取組内容	地域自立支援協議会（本会）2回（6月、3月） 地域生活支援部会1回、就労部会1回、療育部会1回（それぞれ1月に実施）			
評価内容	評価指標	銚子市地域自立支援協議会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	年2回の本会の実施と、各専門部会をそれぞれ1回ずつ実施
	3回	B		
	R6		今後の課題	協議会会議における障害者支援体制などに関する課題の抽出・深掘り。専門部会にて各分野ごとの課題や支援の充実体制の検討を進める
	5回			
事業No.	321201	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催			
事業概要	地域包括ケアシステムを構築するため、保健、医療、福祉等の関係者が連携し、地域の課題についての情報交換や話し合いなどを行う「地域ケア推進会議」を開催する。			
R6の取組内容	介護保険事業等運営協議会、健康づくり・地域支え合い推進会議、医療介護専門部会、認知症を考える会など地域包括ケア推進を目的に各種会議を開催した。			
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議（地域ケア推進会議）の開催回数		
	R5	評価	評価理由	年間計画に従い、開催することができた。なお、開催回数の減少は、効果的な検討をするため、専門部会を一部統合して実施したため。
	14回	A		
	R6		今後の課題	専門部会で検討した内容は、必要に応じて介護保険事業等運営協議会に提言していく。
	12回			

地域福祉計画取組状況確認票（R 6）

事業No.	321301	担当課室	総務室	
事業名	町内青年館整備費補助金交付事業			
事業概要	町内青年館の修繕等に対して補助金を支出する。			
R6の 取組内容	垣根町青年館の修繕事業に対して補助金を支出した。			
評価内容	評価指標	町内青年館整備費補助金交付件数		
	R5	評価	評価理由	予算上想定した事業に対して補助を行った。
	1件	B		
	R6			
	1件		昨今の建築単価等の上昇に応じて増額を検討する必要がある。	
事業No.	321302	担当課室	総務室	
事業名	まちづくりサポートルーム事業			
事業概要	市民活動団体が集会等を行うためのまちづくりサポートルームの貸出・維持管理を行う。			
R6の 取組内容	引き続きサポートルームの貸出しを行った。			
評価内容	評価指標	まちづくりサポートルーム貸出団体数・貸出回数		
	R5	評価	評価理由	団体数、回数共に減少した。
	3団体・165回	B		
	R6			
	2団体・106回		周知方法等について検討が必要と思われる。	
事業No.	321303	担当課室	市民センター	
事業名	公民館施設の貸出			
事業概要	児童から青年、成人、高齢者に至るまですべての年齢の人が、学習や研修、スポーツや趣味に興じたり、楽しむ機会を提供されることが出来る生涯学習のための施設である公民館としての責務を果たし、市民のために生涯学習の機会と場所を提供する。			
R6の 取組内容	生涯学習の場としての提供はもちろん、公民館が地域の実情に合わせて柔軟に運営されるよう、民間企業等による公民館活用を進めた。			
評価内容	評価指標	公民館施設の貸出回数		
	R5	評価	評価理由	貸出回数が増加した。
	1,791回	A		
	R6			
	3,396回		新年度、市民センターは大規模改修工事を予定しているため、貸出制限を設ける予定。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	331101	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
事業概要	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、利用者一人ひとりについて、様々な職種が連携し、個々の高齢者の状況やその変化に応じて継続的に支援していく。			
R6の取組内容	ケアマネジャーが中心となり、サービス事業者を含む支援チーム全体で包括的継続的なケアマネジメントが実践できるよう、「環境面を整備する支援」と「介護支援専門員等に対する個別支援」の二つの面から支援を行った。自立支援・重度化防止の研修会も開催した。			
評価内容	評価指標	包括的・継続的ケアマネジメント対応件数		
	R5	評価	評価理由	地域包括支援センターで個別支援を実施。環境整備として地域ケア実務者会議を開催し、スキルアップと関係機関との連携強化を実施できた。
	1,007件	A		
	R6		今後の課題	引き続き、環境整備と個別支援の双方を実施していく。
	898件			
事業No.	332101	担当課室	社会福祉室	
事業名	第三者委員制度の周知			
事業概要	社会福祉事業経営者における利用者からの苦情解決の仕組みの一つとして、事業所との関係が第三者的な立場にある苦情受付担当を配置する「第三者委員」制度を周知する。			
R6の取組内容	社会福祉法人に対する法人監査の際に制度の周知を行った。			
評価内容	評価指標	第三者委員制度の周知の有無		
	R5	評価	評価理由	令和6年度に法人監査を実施した社会福祉法人への制度周知が進んだ。
	無	B		
	R6		今後の課題	引き続き社会福祉法人監査の実地検査の際に、制度周知を行うほか、周知方法を検討する。
	有			
事業No.	332102	担当課室	子育て支援課	
事業名	福祉サービスに対する苦情の解決制度の実施			
事業概要	公立保育所における、利用者等の苦情に対し適切な対応を図り、利用者の利益保護及び信頼の確保を図る。			
R6の取組内容	苦情等はあったものの、福祉サービス苦情解決第三者委員への報告を希望する案件は無かった。			
評価内容	評価指標	福祉サービスに対する苦情申出件数		
	R5	評価	評価理由	各保育所において、苦情に対する対応ができた。
	13件	A		
	R6		今後の課題	引き続き、円滑な制度の運用を図る。
	9件			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	332103	担当課室	高齢者福祉課		
事業名	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検				
事業概要	地域包括ケアシステム推進会議において委託型地域包括支援センターなどの業務評価・業務点検を行う。				
R6の取組内容	2月開催の地域包括ケアシステム推進会議にて、委託型地域包括支援センターの業務評価・点検結果を報告した。なお、R6年度は書面開催であったため、後日、意見を頂いた。				
評価内容	評価指標	地域包括ケアシステム推進会議での業務評価・業務点検の実施の有無			
	R5	評価	評価理由	各委託型地域包括支援センターで業務チェックシートのチェック項目について自己評価を行い、それについて行政評価を実施した。新たに、活動回数や事業実施量を新たに追加し、評価を実施。	
	有	A			
	R6				
	有				
		今後の課題	業務点検を通じ、委託型地域包括支援センター業務が一部に偏ることなく、バランスよく機能し、効果的、効率的な運営となるよう努める。		
事業No.	332201	担当課室	社会福祉室		
事業名	生活保護のしおりの配布				
事業概要	生活保護制度の周知のため、制度概要を記載した「生活保護のしおり」を配布する。				
R6の取組内容	生活保護相談者や申請者へ「生活保護のしおり」を配布するとともに、「しおり」により生活保護制度を説明した。なお、「しおり」は市ホームページからダウンロードできる。				
評価内容	評価指標	生活保護のしおりの配布の有無			
	R5	評価	評価理由	従前から、生活保護相談者等に「しおり」を配布し、説明している。また、相談記録にも「しおり」の配布や説明の有無も記録している。	
	有(184件)	A			
	R6				
	有(181件)				
		今後の課題	制度改正に合わせて、随時見直しをする。		
事業No.	332202 (411101) (411201)	担当課室	障害支援室		
事業名	<サービスの情報提供> 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】				
事業概要	障害者福祉に関する制度やサービスなどを掲載した「障害者福祉ガイドブック」を作成、配布・市HPに掲載。障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「障害福祉地域資源マップ」を市HPに掲載。				
R6の取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和6年4月版を作成・配付・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和4年4月作成）を市HPに掲載。				
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無			
	R5	評価	評価理由	「障害者福祉ガイドブック」は、主として手帳の新規取得者に対して配付。	
	有	B			
	R6				
	有				
		今後の課題	制度改正等に応じた最新情報の反映。		

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	332203	担当課室	高齢者福祉課
事業名	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布		
事業概要	高齢者が元気に安心して生活が送れるように、日常生活での困りごとに役立つ情報を掲載した「ちょーぴーのやさしさ便利帳」を配布する。		
R6の取組内容	第3版を東部、中央、西部地域包括支援センター及び高齢者福祉課で配布した。 便利帳4版の作成に向け、第2層生活支援コーディネーターを中心に掲載事業者の聞き取りを行った。高齢者の活躍できる場の情報（ボランティア活動）を追加した。		
評価内容	評価指標	ちょーぴーのやさしさ便利帳の配布部数	
	R5	評価	評価理由
	2,865部	A	
	R6		今後の課題
	1,542部		
			便利帳第4版の周知。
事業No.	332301	担当課室	秘書広報室
事業名	点字版広報紙の作成配布		
事業概要	広報ちょうしの点訳		
R6の取組内容	千葉県視覚障害者福祉協会に業務委託し点字版広報ちょうしを作成、配布している。		
評価内容	評価指標	点字版広報紙の配布件数	
	R5	評価	評価理由
	11件／月	A	
	R6		今後の課題
	10件／月		
			「点字版広報ちょうし」とともに「声の広報ちょうし（CD）」も併用し活用していく。
事業No.	332302	担当課室	秘書広報室
事業名	市ホームページの機能追加（音声読上げ・文字拡大・配色調整）		
事業概要	ホームページの機能を追加し、誰もが使いやすいホームページを心掛ける。		
R6の取組内容	令和5年度のホームページリニューアルに伴い音声読上げ・文字拡大・配色調整やスマートフォン対応を実施済み		
評価内容	評価指標	市ホームページの機能追加の有無	
	R5	評価	評価理由
	有	A	
	R6		今後の課題
	有		
			利便性向上が図れる新しいホームページ機能など情報収集し研究していく。

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	411101 (332202) (411201)	担当課室	障害支援室	
事業名	<福祉関連施設・拠点の周知> 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】			
事業概要	令和4年4月、銚子市地域自立支援協議会が、障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「銚子市障害福祉地域資源マップ」を作成。関係団体に配布するとともに市HPに掲載。			
R6の 取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和6年4月版を作成・配付・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和4年4月作成）を市HPに掲載。			
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無		
	R5	評価	評価理由	「障害者福祉ガイドブック」は、主として手帳の新規取得者に対して配付。
	有	B		
	R6			
	有		制度改正等に応じた最新情報の反映。	
事業No.	411102	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	居宅介護支援・サービス事業者一覧の配布			
事業概要	市内の居宅介護支援等の介護サービス事業者の一覧表を作成し、配布する。			
R6の 取組内容	事業所の新設・廃止があるごとに、一覧表を更新した（R6は4、5、6、7、8、10、11、2月の8回）			
評価内容	評価指標	居宅介護支援・サービス事業者一覧の配布の有無		
	R5	評価	評価理由	計画通り一覧表を配布できた。
	有	A		
	R6			
	有		休止事業所の掲載の取扱いなどを精査する。	
事業No.	411201 (332202) (411101)	担当課室	障害支援室	
事業名	<福祉関連サービスの周知> 障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布【重複】			
事業概要	障害者福祉に関する制度やサービスなどを掲載した「障害者福祉ガイドブック」を作成、配布・市HPに掲載。 障害福祉サービス事業所や相談窓口などの所在地などをまとめた「障害福祉地域資源マップ」を市HPに掲載。			
R6の 取組内容	「障害者福祉ガイドブック」の令和6年4月版を作成・配付・市HPへの掲載。 「地域資源マップ」（令和4年4月作成）を市HPに掲載。			
評価内容	評価指標	障害者福祉ガイドブック・資源マップの配布の有無		
	R5	評価	評価理由	「障害者福祉ガイドブック」は、主として手帳の新規取得者に対して配付。
	有	B		
	R6			
	有		制度改正等に応じた最新情報の反映。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	411202	担当課室	子育て支援課	
事業名	子育てハンドブックの配布			
事業概要	本市の子育て支援の具体的施策として、子育てに関する支援制度や相談支援機関等に関する情報を掲載した「銚子市子育てハンドブック」を作成し配布する。			
R6の取組内容	令和7年3月に発行、各保育・教育施設及び市内外部施設への配布を行った。			
評価内容	評価指標	子育てハンドブックの配布の有無		
	R5	評価	評価理由	各保育・教育施設、市内外部施設へ計3,400冊配布した。
	有	A		
	R6			
	有		HP及び市公式インスタグラムにおいて本冊の周知を図る。	
事業No.	411203	担当課室	子育て支援課	
事業名	子育て支援に関する情報のSNSによる発信			
事業概要	LINEを利用して子育て支援に関する情報を発信する。			
R6の取組内容	各種給付金、子ども医療助成制度等の案内、保育料・放課後児童クラブ使用料口座振替のお知らせを配信した。			
評価内容	評価指標	子育て支援に関する情報のSNSによる発信の有無		
	R5	評価	評価理由	市公式LINEによる配信を実施。
	有	A		
	R6			
	有		健康づくり課と子育て支援課の子育て支援に関する業務内容の区別が市民には分かりにくい。	
事業No.	411204	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	介護保険パンフレットの配布			
事業概要	介護認定申請の新規申請者等に制度内容を説明するためのパンフレットを作成し、市役所の窓口や地域包括支援センターで配布する。			
R6の取組内容	令和6年5月 安心介護保険パンフレットを作成し、以降配布を行った。			
評価内容	評価指標	安心介護保険パンフレットの配布の有無		
	R5	評価	評価理由	安心介護保険パンフレットの配布を行った。
	有	A		
	R6			
	有		制度改正などに応じた最新の情報に更新していく。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	411301	担当課室	障害支援室	
事業名	児童発達支援センターの指定管理			
事業概要	児童発達支援を行うほか、地域の障害児やその家族への相談、障害児を預かる家族への援助・助言を合わせて行う地域の中核的な療育支援施設である「児童発達支援センターわかば」について、指定管理委託により運営する。			
R6の取組内容	NPO法人あおぞらに児童発達支援センターわかばの運営を指定管理委託した。			
評価内容	評価指標	児童発達支援センターの指定管理委託の有無		
	R5	評価	評価理由	指定管理委託を実施。施設の運営に関し、指定管理者と市が連携を密にした。また、指定管理料の削減も進んでいる。
	有	A		
	R6			
	有			
事業No.	411302	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	てうしケアマネクラブとの連携			
事業概要	市内の介護支援専門員を中心とした会員で組織した「てうしケアマネクラブ」の活動との連携を図る。			
R6の取組内容	市内の介護支援専門員を中心とした会員で組織した、てうしケアマネクラブの活動との連携を実施。てうしケアマネクラブと地域包括支援センターの打ち合わせも調整・出席した。			
評価内容	評価指標	てうしケアマネクラブとの連携の有無		
	R5	評価	評価理由	てうしケアマネクラブと地域包括支援センターの調整ができた。
	有	A		
	R6			
	有			
事業No.	(312201) 412101	担当課室	社会福祉室	
事業名	<全庁的な体制整備> 地域福祉推進幹事会の取組強化【重複】			
事業概要	社会福祉、子育て、高齢者、健康、保健、医療、教育、防災、環境、市民活動など各分野の問題・課題について、庁内関係課で「地域福祉推進幹事会」を組織し、包括的に対応する体制を整える。			
R6の取組内容	地域福祉推進幹事会を3回開催 (主な議題：地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について、引きこもり者の支援について) 参加関係課：社会福祉協議会・総務室（第1回、第3回）・危機管理室・社会福祉課・子育て支援課・高齢者福祉課・健康づくり課・産業振興室（第2回、第3回）・学校教室（第3回）			
評価内容	評価指標	地域福祉推進幹事会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	全庁的な体制として地域福祉推進幹事会が組織され、会議を開催したが、さらなる取組の充実が必要である。
	1回	B		
	R6			
	3回			
具体的な問題・課題の議論・検討が未実施であるため、その過程の詳細が未確定である。				

地域福祉計画取組状況確認票（Ｒ６）

事業No.	412102	担当課室	障害支援室	
事業名	障害者優先調達推進法に基づく物品等調達の取組			
事業概要	「障害者優先調達推進法」の規定に基づき、障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図る。			
R6の取組内容	令和6年4月1日付で「令和6年度銚子市障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針」を策定。市の掲示板に掲載し、調達の推進を依頼。令和6年度における市の調達実績は4件。			
評価内容	評価指標	障害者優先調達推進法に基づく物品等調達の件数		
	R5	評価	評価理由	市役所内の全組織を対象とした「方針」に従い取り組んでいるが、需給バランスが悪く、調達実績が増えない。
	3件	B		
	R6		今後の課題	制度の周知を徹底する。
	4件			
事業No.	412201	担当課室	社会福祉室	
事業名	民生委員・児童委員協議会の運営費等補助			
事業概要	民生委員・児童委員の活動を間接的に支援するため、民生委員・児童委員協議会に対し運営費を補助する。			
R6の取組内容	県補助金を財源として運営費補助金を交付した。			
評価内容	評価指標	民生委員・児童委員協議会運営費等補助金額		
	R5	評価	評価理由	運営費補助金を交付した。
	1,038千円	A		
	R6		今後の課題	協議会の財政状況を踏まえて補助金を継続して支出
	1,038千円			
事業No.	(132201) 412301	担当課室	社会福祉室	
事業名	<地域福祉活動のための財源の確保> 社会福祉協議会運営費補助【重複】			
事業概要	運営費補助金を交付することにより、社会福祉協議会が行う地域福祉活動の推進を財政的に支援する。			
R6の取組内容	市は、R6年度は16,646千円の補助金を交付し、社会福祉協議会の運営を支援			
評価内容	評価指標	社会福祉協議会運営費補助金額		
	R5	評価	評価理由	補助金の支出により、社会福祉協議会の運営を支援 補助先の人件費の増加に伴い補助金額も増額
	15,952千円	B		
	R6		今後の課題	市からの財政支援とともに、社会福祉協議会の自主財源の増加（市補助金の減少）の取組を促す。
	16,646千円			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421101	担当課室	危機管理室	
事業名	防災・避難訓練の実施			
事業概要	地域住民や防災関係機関等と連携し、防災・避難訓練を実施することで、避難体制の強化や防災意識の高揚を図る。			
R6の 取組内容	R6.6.16 名洗町津波避難訓練 R6.7.18 名洗港（銚子マリーナ）緊急支援物資輸送訓練 R6.10.4 千葉県立銚子特別支援学校合同防災訓練 R6.11.2 西小川町第二町内会防災訓練 R6.11.10 名洗町津波避難訓練			
評価内容	評価指標	防災・避難訓練の実施回数		
	R5	評価	評価理由	地域住民や防災関係機関等と連携し、防災・避難訓練を実施した。
	6回	A		
	R6		今後の 課 題	訓練の内容を多様化し、より実践的かつ効果的なものにしていく必要がある。
	6回			
事業No.	421102	担当課室	危機管理室	
事業名	福祉避難所の充実			
事業概要	社会福祉施設等と福祉避難所に係る協定を締結し、福祉避難所の増設・充実を図る。			
R6の 取組内容	新たな福祉避難所の設置（協定締結）はなかった。			
評価内容	評価指標	福祉避難所（協定）の数		
	R5	評価	評価理由	令和6年度においては、新たな福祉避難所の設置（協定締結）はなかった。
	17か所	D		
	R6		今後の 課 題	福祉避難所の受け入れ態勢が整っていない。
	17か所			
事業No.	421103	担当課室	危機管理室	
事業名	ホテル・旅館の避難所利用			
事業概要	ホテル・旅館の避難所利用について、協定を締結することにより、高齢者など避難生活、環境において特に配慮を要する方々の受け入れを可能とし、安心して安全な避難生活を確保する。			
R6の 取組内容	銚子市旅館ホテル組合、ルートインジャパン(株)と災害時における避難所の施設利用等に関する協定を締結済み。			
評価内容	評価指標	ホテル・旅館の避難所利用協定の数		
	R5	評価	評価理由	銚子市旅館ホテル組合、ルートインジャパン(株)と災害時における避難所の施設利用等に関する協定を締結済み。
	2件	A		
	R6		今後の 課 題	各ホテル等と適切な情報伝達手段や意思疎通の仕組みを確立し、円滑なコミュニケーションを図っていくこと。
	2件			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421104	担当課室	危機管理室	
事業名	要配慮者利用施設における避難確保計画作成支援			
事業概要	地域防災計画に位置付けられている要配慮者利用施設について避難確保計画の作成支援を行い、避難訓練等の実施を推進する。			
R6の取組内容	地域防災計画に位置付けられている全ての要配慮者利用施設において避難確保計画を作成済み。			
評価内容	評価指標	要配慮者利用施設における避難確保計画数		
	R5	評価	評価理由	地域防災計画に位置付けられている全ての要配慮者利用施設において避難確保計画を作成済み。
	8件	A		
	R6			
	8件		地域防災計画の修正にあわせ、新たに位置づけられた要配慮者施設においても避難確保計画を作成する。	
事業No.	421105	担当課室	危機管理室	
事業名	文字表示型防災ラジオの配布			
事業概要	聴覚障害のある方（世帯）に、文字表示型防災ラジオを有償配布する。			
R6の取組内容	広報やLINEを活用し、周知を実施した。また、障害支援室に依頼し、身体障害者手帳（聴覚）を交付された方に、文字表示型防災ラジオ等のチラシの配付も行っている。			
評価内容	評価指標	文字表示型防災ラジオの配布数		
	R5	評価	評価理由	障害支援室に依頼し、身体障害者手帳（聴覚）を交付された方に、文字表示型防災ラジオ等のチラシを配付し、文字表示型防災ラジオの周知を行った。
	1台	B		
	R6			
	2台		継続して、周知を行っていく。	
事業No.	421106 (431101)	担当課室	危機管理室 (障害支援室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の取組内容	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	評価理由	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。
	461人	A		
	R6			
	441人		関係機関および関係者との共有と連携を今後も行っていく。また、効果的な支援活動を行うためにも適切な分析や評価が必要となる。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421106 (431101)	担当課室	障害支援室 (危機管理室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の 取組内容	名簿への登録案内を市HPに掲載するとともに、個別避難計画作成対象町内に隣組回覧で周知を図った。 また、5月号広報紙に名簿への登録案内の記事を掲載。 名簿の登録者数は、令和7年3月31日現在で障害者187人。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	評価理由	名簿への登録案内は継続しているものの、登録者の捕捉率は低いものと推測される。また、当初登録していた方の死亡、長期入院、入所、転出が増えたこと等で、登録数は減少した。
	(合計) 245人 ※障害者213人	B		
	R6		制度の周知を図り登録への理解を深める。	
	(障害者) 187人			
事業No.	421106 (431101)	担当課室	高齢者福祉課 (危機管理室・障害支援室)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の 取組内容	10月号広報ちょうしにて、避難行動要支援者名簿の登録について掲載。（新規登録希望者を募集） 年2回名簿を更新（死亡・転出といった住基異動、施設入所者を名簿から削除） 随時、名簿登録申請を受付するため、新規の申請があった場合はその月末に名簿を随時更新。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	評価理由	名簿更新は年間計画に従い、更新できた。
	(高齢者) 248人	A		
	R6		名簿新規登録は高齢者本人やその家族などからの手上げ方式となるため、重複申請の可能性がある。	
	(高齢者) 227人			
事業No.	421107 (431102)	担当課室	危機管理室 (障害支援室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	避難行動要支援者に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。			
R6の 取組内容	市内の各福祉事業者へ個別避難計画作成の業務委託を発注した。また、市、契約事業者、町内会と個別避難計画作成にかかる説明会を開催し、個別避難計画の作成に関して町内会等の理解を得た。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	今年度予定した対象者の計画作成は完了。引き続き、名簿登録者の個別避難計画作成を進める。
	68人	B		
	R6		作成した避難計画の更新、保守管理等	
	69人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421107 (431102)	担当課室	障害支援室 (危機管理室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	避難行動要支援者について、誰が支援するか、どこに避難するか、避難するときにどのような配慮が必要かなど、一人ひとりの状況に合わせた個別の避難行動計画を作成する。			
R6の 取組内容	障害者については、作成対象者数32人うち、計画作成を希望しない方、名簿の削除を希望する方、長期入院・入所などを除く、7人について作成。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	順次、避難行動計画を作成しているが、具体的に計画作成の段階で、辞退される（実際は日常生活が自立等）ケースもあった。
	(障害者) 23人	B		
	R6		今後の 課 題	- 計画作成を行う人材の不足 - 対象者の避難支援を行う支援者（協力者）の選定 - 共助に対する理解の相違（避難支援は「市（行政）で」という考え方） など
	(障害者) 7人			
事業No.	421107 (431102)	担当課室	高齢者福祉課 (危機管理室・障害支援室)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	避難行動要支援者名簿に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。			
R6の 取組内容	10月個別避難計画作成の業務委託に関する説明会を開催。（ケアマネ向け） 11月 計画作成を居宅介護支援事業所へ依頼。 11月 計画作成に係る家庭訪問の実施について（通知）を対象者へ発送。 12月～1月 ケアマネが対象者宅へ訪問し、個別避難計画素案を作成。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	ケアマネに計画作成を依頼することで、計画作成業務は円滑に進めることができた。
	(高齢者) 45人	A		
	R6		今後の 課 題	調整会議で地域の避難支援者を選定して頂いたが、平常時の地域のつながりが希薄化している町内では、支援者選定が難しかった。
	(高齢者) 62人			
事業No.	(222301) 421201	担当課室	危機管理室	
事業名	<ボランティア・NPOの活動支援> 自主防犯組織支援事業【重複】			
事業概要	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入に係る費用を補助し、自主防犯組織の活動を支援する。			
R6の 取組内容	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助し、自主防犯組織の活動を支援した。			
評価内容	評価指標	自主防犯組織の団体数・支援の有無		
	R5	評価	評価理由	市内の自主防犯組織のボランティア保険の加入を補助した。
	10団体・支援有	A		
	R6		今後の 課 題	構成員の高齢化等による団体数の減少
	10団体・支援有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(222302) 421202	担当課室	危機管理室	
事業名	<地域防犯体制の強化> 防犯指導員連絡協議会事業費補助【重複】			
事業概要	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助し、地域の防犯体制の強化を図る。			
R6の 取組内容	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。			
評価内容	評価指標	防犯指導員連絡協議会事業費補助額		
	R5	評価	評価理由	銚子市防犯指導員連絡協議会の活動事業費を補助した。
	200千円	A		
	R6			
	200千円			
事業No.	421203	担当課室	危機管理室	
事業名	防犯カメラ設置補助事業			
事業概要	町内会等が設置する防犯カメラ及び防犯灯の設置費用を補助し、想定される様々な犯罪の防止を図る。			
R6の 取組内容	町内会等が設置する防犯カメラ及び防犯灯の設置費用を補助し、想定される様々な犯罪の防止を図った。			
評価内容	評価指標	防犯カメラ設置補助団体数		
	R5	評価	評価理由	町内会等が設置する防犯カメラ及び防犯灯の設置費用を補助した。
	3団体	A		
	R6			
	2団体			
事業No.	421204	担当課室	危機管理室	
事業名	防犯組合連合会事業費補助事業			
事業概要	千葉県防犯組合連合会の正会員として参加し、犯罪の防止活動を推進し、安全で安心して生活できる地域社会の実現を目指す。			
R6の 取組内容	千葉県防犯組合連合会の正会員費を負担した。			
評価内容	評価指標	防犯組合連合会事業費補助金額		
	R5	評価	評価理由	千葉県防犯組合連合会の正会員費を負担した。
	100千円	A		
	R6			
	115千円			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421205	担当課室	危機管理室	
事業名	特殊詐欺対策電話機器等設置補助事業			
事業概要	市内の高齢者世帯を対象に特殊詐欺対策機能を有した電話機器等の購入費を補助する。			
R6の取組内容	市内の高齢者世帯を対象に特殊詐欺対策機能を有した電話機器等の購入費を補助した。			
評価内容	評価指標	特殊詐欺対策電話機器等設置補助件数		
	R5	評価	評価理由	引き続き補助金の周知に努める。
	22件	A		
	R6			
	47件		事業は令和7年度で終了の予定	
事業No.	421301	担当課室	危機管理室	
事業名	自主防災組織活動事業費補助事業			
事業概要	自主防災組織に対する活動事業費を一部補助し、自主防災組織の設立の機運醸成を図る。			
R6の取組内容	町内会への説明、市HP、市広報などでの周知を実施			
評価内容	評価指標	自主防災組織活動事業費補助団体数		
	R5	評価	評価理由	町内会への説明、市HP、市広報などでの周知を実施したが、3団体のみの設立に留まった。
	1団体	B		
	R6			
	3団体		町内会における自主防災組織の設立に対する負担感が強く、組織の機運が高まっていない。	
事業No.	(212101) 421302	担当課室	危機管理室	
事業名	<リーダー研修の実施> 防災士の育成支援（防災ワークショップの開催）【重複】			
事業概要	防災士の資質向上を図るためのフォローアップの取組として、防災講座や防災ワークショップなどを開催する。			
R6の取組内容	・令和6年5月19日（日）銚子防災士会設立総会記念講演「令和6年能登半島地震から銚子市の地震・津波防災を考える～銚子防災士会に期待する「協働」の取り組み～」 ・令和6年11月9日（土）千葉県防災研修センター主催 防災セミナー「シニア世代のための防災活動セミナー」 上記2つを令和6年度の防災士フォローアップ講座として実施した。			
評価内容	評価指標	防災ワークショップの開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	高齢者世帯の防災対策や能登半島地震の被災地の状況などから銚子市の防災を考えた講義を受講することで防災士の資質向上を図ることができた。
	1回・22人	A		
	R6			
	2回・35人		参加者が毎回同じ方が多いので、開催日時や周知方法を工夫し、多くの防災士に参加していただくようにする必要がある。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	421401	担当課室	危機管理室	
事業名	防災ハザードマップ作成事業			
事業概要	WEB版防災ハザードマップの保守・更新 紙版防災ハザードマップはR2年度作成済			
R6の 取組内容	紙版防災ハザードマップはR2年度作成済 WEB版防災ハザードマップの保守・更新を行った。			
評価内容	評価指標	防災ハザードマップの作成		
	R5	評価	評価理由	紙版防災ハザードマップはR2年度作成済 WEB版防災ハザードマップの保守・更新を行った。
	R2作成済	A		
	R6			
	R2作成済		千葉県が策定予定の津波災害警戒区域や、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等が更新された場合にハザードマップの更新も必要となる。	
事業No.	421402	担当課室	危機管理室	
事業名	防災・防犯メール配信事業			
事業概要	災害時の情報伝達手段の一つとして、防災行政無線で周知している気象警報などの情報を、市民にメール配信する。			
R6の 取組内容	広報ちょうしや市ホームページで利用方法を掲載するほか、市民ふれあい講座の防災に関する講座や防災訓練等で利用の案内など啓発活動を行った。また、市公式LINEとの連携もしているため、キャリアメールを使用していない市民についてもLINEで同様の情報を得ることができるになっている。			
評価内容	評価指標	防災・防犯メール配信件数		
	R5	評価	評価理由	広報ちょうしや市ホームページで利用方法を掲載するほか、市民ふれあい講座の防災に関する講座や防災訓練等で利用の案内など啓発活動を行った。
	8,194件	A		
	R6			
	8,026件		発災時の迅速な情報収集や配信体制の整備が必要となる。	
事業No.	421403	担当課室	危機管理室	
事業名	災害ボランティアセンターの連絡調整体制の強化			
事業概要	銚子市社会福祉協議会、銚子市災害ボランティアセンター連絡調整会議において、災害ボランティアセンター設置時における連絡体制の確認を行う。また、平時において災害ボランティアセンターの運営に関する研修を実施し、知識を高める。			
R6の 取組内容	銚子市災害ボランティアセンター連絡調整会議において、災害ボランティアセンター設置時における連絡体制の確認や意見交換を行った。東庄町災害VC運営訓練へ連絡調整会議で参加した。			
評価内容	評価指標	災害ボランティアセンターの連絡調整体制の強化		
	R5	評価	評価理由	連絡調整会議において、関係機関の連絡体制の確認や意見交換を実施。また、東庄町災害ボランティアセンター運営訓練へ参加した。
	有	B		
	R6			
	有		災害ボランティアセンターの具体的な運営については、検討していく必要がある。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	422101	担当課室	消費生活センター	
事業名	消費生活啓発事業			
事業概要	消費生活に関する各種講座の開催及び情報提供			
R6の取組内容	市民ふれあい講座、高齢者対象の講座、高校生対象の講座、市広報への掲載、パンフレットの作成・配布			
評価内容	評価指標	消費生活啓発事業の実施の有無		
	R5	評価	評価理由	前年度とほぼ同様の実施。
	有	B		
	R6			
	有		講座の開催回数の増加	
事業No.	(311114) 422201	担当課室	消費生活センター	
事業名	<消費者被害の相談支援> 消費生活センターの運営【重複】			
事業概要	消費生活相談員による消費生活相談			
R6の取組内容	相談業務及び苦情等への適切かつ迅速な対応と処理			
評価内容	評価指標	消費生活センター相談件数		
	R5	評価	評価理由	適正かつ迅速な対応と処理の遂行。関係機関との連携。
	576件	A		
	R6			
	573件		引き続き、適正かつ迅速な対応と処理を実行する。関係機関との連携を強化する。	
事業No.	(311102) 423101	担当課室	社会福祉室	
事業名	<生活困窮者自立支援事業> 生活困窮者自立支援事業「ちょうしサポートセンター」の運営委託【重複】			
事業概要	生活困窮、長期失業、家族のひきこもり、就労経験不足など心、家庭、健康上などの問題に対し、相談、課題評価・分析、支援計画作成、自立支援を行う。			
R6の取組内容	生活困窮者自立支援業務をNPO法人socialmateに委託し、「ちょうしサポートセンター」を運営			
評価内容	評価指標	生活困窮者自立支援相談件数		
	R5	評価	評価理由	継続的に新規相談を受け付けており、支援が必要な方へのサポートは一定程度できている。一方で、生活困窮から抜け出せず、生活保護に至る方も少なくはなく、取組のますますの推進が必要
	120件	B		
	R6			
	128件		生活困窮者自立支援制度として、現在実施している「自立相談支援事業」に加え、任意事業で未実施である「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施を目指す。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	423201 (511201)	担当課室	社会福祉室	
事業名	<生活保護事業など> 生活保護事業【重複】			
事業概要	資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。			
R6の 取組内容	制度に従い生活保護制度を適正に執行した。			
評価内容	評価指標	生活保護受給世帯数		
	R5	評価	評価理由	制度に従い生活保護制度を適正に執行した。
	591世帯	A		
	R6		今後の 課 題	引き続き適正に生活保護事務を執行する。
	609世帯			
事業No.	423202 (511202)	担当課室	社会福祉室	
事業名	<生活保護事業など> 住居確保給付金支給事業【重複】			
事業概要	「離職」「自営業の廃止」又は「ご自身の都合によらない就業機会等の減少」により経済的に困窮し、「住居を喪失している方」又は「住居を喪失するおそれのある方」に対し、一定期間、家賃相当分の給付金を支給することにより、住居と就労機会の確保を支援する。			
R6の 取組内容	N P O 法人socialmateに給付金の相談・申請受付業務を委託している。しかし、令和6年度は給付金の支給実績なし。			
評価内容	評価指標	住居確保給付金支給件数		
	R5	評価	評価理由	支給件数は減少しているものの、潜在的なニーズは存在する可能性があるため、N P O 法人socialmate及び市社会福祉協議会と連携しながら制度の有効活用を図る必要がある。
	2件	B		
	R6		今後の 課 題	引き続き適正に給付金事務を執行する。 同制度の利用後、必要に応じて生活保護制度などと連携する。
	0件			
事業No.	423203	担当課室	学校教育室	
事業名	準要保護などの就学援助			
事業概要	学校教育法の規定により、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学援助費を支給する。			
R6の 取組内容	就学援助費支給のための認定事務など、学校・保護者と連絡を取り合い、不利益が生じないように執行した。			
評価内容	評価指標	準要保護人数		
	R5	評価	評価理由	支給漏れなど、不利益が生じないように制度運用ができた。
	227人	A		
	R6		今後の 課 題	引き続き、円滑な制度の運用を図る。
	219人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(421106) 431101	担当課室	危機管理室 (障害支援室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の 取組内容	作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	A	評価理由 作成した避難行動要支援者名簿について適宜更新し、警察・消防・危機管理室へ提出した。
	461人	評価理由		
	R6			
	441人			
事業No.	(421106) 431101	担当課室	障害支援室 (危機管理室・高齢者福祉課)	
事業名	<避難行動要支援者支援制度> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の 取組内容	名簿への登録案内を市HPに掲載。また個別避難計画作成対象町内に隣組回覧実施。 名簿の登録者数は、令和7年3月31日現在で障害者187人。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	B	評価理由 名簿への登録案内は継続しているものの、登録者の捕捉率は低いものと推測される。また、当初登録していた方の死亡、長期入院、入所、転出が増えたこと等で、登録数は減少した。
	(合計) 245人 ※障害者213人	評価理由		
	R6			
	(障害者) 187人			
事業No.	(421106) 431101	担当課室	高齢者福祉課 (危機管理室・障害支援室)	
事業名	<避難行動要支援者支援制度> 避難行動要支援者名簿の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難な者（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、更新していく。			
R6の 取組内容	10月号広報ちょうしにて、避難行動要支援者名簿の登録について掲載。（新規登録希望者を募集） 年2回名簿を更新（死亡・転出といった住基異動、施設入所者を名簿から削除） 随時、名簿登録申請を受付するため、新規の申請があった場合はその月末に名簿を随時更新。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者名簿登録者数		
	R5	評価	A	評価理由 名簿更新は年間計画に従い、更新できた。
	(高齢者) 248人	評価理由		
	R6			
	(高齢者) 227人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(421107) 431102	担当課室	危機管理室 (障害支援室・高齢者福祉課)	
事業名	<災害時における要配慮者への支援> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	災害時に自ら避難することが困難なもの（要配慮者）であって、特にその円滑かつ迅速な避難のために特に支援を必要とする者（避難行動要支援者）の名簿を作成し、一人ひとりの状況に合わせた避難計画を作成する。			
R6の 取組内容	市内の各福祉事業者に個別避難計画作成の業務委託を発注した。また、市、契約事業者、町内会と個別避難計画作成にかかる説明会を開催し、個別避難計画の作成に関して町内会等の理解を得た。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	今年度予定した対象者の計画作成は完了。引き続き、名簿登録者の個別避難計画作成を進める。
	68人	B		
	R6		今後の課題	作成した避難計画の更新、保守管理等
	69人			
事業No.	(421107) 431102	担当課室	障害支援室 (危機管理室・高齢者福祉課)	
事業名	<避難行動要支援者支援制度> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	避難行動要支援者について、誰が支援するか、どこに避難するか、避難するときにどのような配慮が必要かなど、一人ひとりの状況に合わせた個別の避難行動計画を作成する。			
R6の 取組内容	障害者については、作成対象者数32人うち、計画作成を希望しない方、名簿の削除を希望する方、長期入院・入所などを除く、7人について作成。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	順次、避難行動計画を作成しているが、具体的に計画作成の段階で、辞退される（実際は日常生活が自立等）ケースもあった。
	(障害者) 23人	B		
	R6		今後の課題	- 計画作成を行う人材の不足 - 対象者の避難支援を行う支援者（協力者）の選定 - 共助に対する理解の相違（避難支援は「市（行政）で」という考え方）など
	(障害者) 7人			
事業No.	(421107) 431102	担当課室	高齢者福祉課 (危機管理室・障害支援室)	
事業名	<避難行動要支援者支援制度> 個別避難計画の作成【重複】			
事業概要	避難行動要支援者名簿に掲載されている要支援者に対し、一人ひとりの状況に合わせた個別避難計画を作成する。			
R6の 取組内容	10月個別避難計画作成の業務委託に関する説明会を開催。（ケアマネ向け） 11月 計画作成を居宅介護支援事業所へ依頼。 11月 計画作成に係る家庭訪問の実施について（通知）を対象者へ発送。 12月～1月 ケアマネが対象者宅へ訪問し、個別避難計画素案を作成。			
評価内容	評価指標	避難行動要支援者個別避難計画の作成数		
	R5	評価	評価理由	ケアマネに計画作成を依頼することで、計画作成業務は円滑に進めることができた。
	(高齢者) 45人	A		
	R6		今後の課題	調整会議で地域の避難支援者を選定して頂いたが、平常時の地域のつながりが希薄化している町内では、支援者選定が難しかった。
	(高齢者) 62人			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	431201 (432201)	担当課室	障害支援室		
事業名	<見守り支援活動> 障害者虐待防止センターの設置【重複】				
事業概要	障害のある人への虐待を発見した人の通報や虐待を受けた本人からの届け出の受付窓口となる「障害者虐待防止センター」を設置する。				
R6の 取組内容	令和6年度は「障害者虐待防止センター」において、7件の相談を受け付け、障害者の安全確認や、障害福祉サービス事業者・医療機関などと連携しながら対応・支援方法を検討した。				
評価内容	評価指標	障害者虐待防止センターにおける相談件数			
	R5	評価	評価理由	センターにおいて、相談・見守り支援などを実施しているが、支援対象件数が増加しているだけでなく、障害者本人のみならず関係者の複雑多様化が進み、関係機関とのさらなる支援連携体制が重要となっている。センター職員の人員配置の充実が求められる。	
	10件	B			
	R6		今後の課題	人員配置の充実・強化。	
	7件				
事業No.	431202	担当課室	高齢者福祉課		
事業名	認知症対策事業 (認知症初期集中支援チーム、見守りSOSネットワーク、どこシル伝言板、認知症カフェの運営支援など)				
事業概要	認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、各種認知症施策を実施する。				
R6の 取組内容	認知症初期集中支援チームチーム員のスキルアップとチーム同士の連携が取れるように助言。見守りSOSネットワークは、認知症による徘徊のリスクがある高齢者の事前登録を実施。SOS登録時にどこシル伝言板も周知。認知症カフェの運営状況を、認知症考える会で共有。アルツハイマー月間で認知症事業を啓発するパネルを展示。				
評価内容	評価指標	認知症対策事業の実施の有無			
	R5	評価	評価理由	認知症初期集中支援チーム連絡会・チーム員会議の出席。見守りSOSネットワーク・どこシル伝言板申請受付・認知症カフェ等の現状を認知症考える会で共有。アルツハイマー月間のパネル展示。	
	有	B			
	R6		今後の課題	認知症初期集中支援チームが支援できるように、支援対象者の把握をしていく。	
	有				
事業No.	431203	担当課室	障害支援室・（子育て支援課 高齢者福祉課・保健事業室）		
事業名	民間事業者との見守り協定の締結				
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。				
R6の 取組内容	令和6年度は新たに1事業者と見守り協定を締結（計14か所） （障害者を対象として含む協定9か所）				
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（障害者）			
	R5	評価	評価理由	新たに1事業所と見守り協定を締結。	
	8か所	A			
	R6		今後の課題	引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。	
	9か所				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	431203	担当課室	子育て支援課・（障害支援室 高齢者福祉課・保健事業室）		
事業名	民間事業者との見守り協定の締結				
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。				
R6の取組内容	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行った。				
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（子育て）			
	R5	評価	評価理由	関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行った。	
	8か所	A			
	R6		今後の課題	引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。	
	8か所				
事業No.	431203	担当課室	高齢者福祉課（子育て支援課 ・障害支援室・保健事業室）		
事業名	民間事業者との見守り協定の締結				
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。				
R6の取組内容	包括連携協定を民間事業者1社と締結し、その具体的な活動内容として、営業活動中の高齢者等見守り活動について協議した。				
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（高齢者・障害者）			
	R5	評価	評価理由	事業者の申し出に応じ、高齢者の見守り協定を締結し、地域の見守りネットワーク体制の充実を図ることができた。	
	13か所	A			
	R6		今後の課題	協定締結事業者の活動状況を共有する場がない。	
	14か所				
事業No.	431203	担当課室	保健事業室・（障害支援室・ 子育て支援課・高齢者福祉課）		
事業名	民間事業者との見守り協定の締結				
事業概要	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行う。				
R6の取組内容	民間事業者（見守り協力者）が日常の業務の中で、高齢者・障害者・児童等の何らかの異変に気付いた場合、市に連絡し、それを受けた市は関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行った。				
評価内容	評価指標	見守り協定の締結数（子ども）			
	R5	評価	評価理由	関係機関と連携し、高齢者等の安否確認や必要に応じた支援を行った。	
	8か所	A			
	R6		今後の課題	引き続き民間事業者からの申出を受け、見守り協定を締結していく。	
	8か所				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	431204	担当課室	生涯学習室	
事業名	銚子市PTA連絡協議会、銚子市青少年相談員による交通安全運動・パトロールの実施			
事業概要	銚子市PTA連絡協議会による交通安全運動の実施 銚子市青少年相談員によるパトロールの実施			
R6の 取組内容	銚子市PTA連絡協議会による夏（7月16日）、冬（12月17日）のシートベルトチェックの実施 銚子市青少年相談員連絡協議会による夏季合同パトロール（花火大会）（8月3日）、年末年始特別警戒パトロール（12月13日）の実施			
評価内容	評価指標	交通安全運動・パトロールの実施回数		
	R5	評価	評価理由	各団体の事業計画通りに交通安全運動・パトロールを実施した。
	4回	A		
	R6			
	4回		今後も同様に交通安全運動・パトロールを実施する。	
事業No.	431205	担当課室	青少年指導センター	
事業名	銚子市青少年補導員によるパトロールの実施			
事業概要	銚子市青少年補導員によるパトロールの実施			
R6の 取組内容	定例街頭補導のほか、県下一斉（7月26日）、花火大会（8月3日）、列車（11月15日）、歳末パトロール（12月13日）を実施			
評価内容	評価指標	パトロールの実施回数		
	R5	評価	評価理由	定例街頭補導・パトロールを実施した。
	27回	A		
	R6			
	28回		今後も同様に定例街頭補導・パトロールを実施する。	
事業No.	432101	担当課室	障害支援室 （高齢者福祉課）	
事業名	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護業務			
事業概要	成年後見制度の周知・運用、関係団体のネットワーク構築、中核機関の設置など、高齢者や障害者など、立場が弱いとされている方の権利を守るための取り組みを推進する。			
R6の 取組内容	地域包括支援センターと基幹相談支援センターの間や、東総権利擁護ネットワークなど関係機関と情報共有を行った。			
評価内容	評価指標	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護関係相談数		
	R5	評価	評価理由	相談内容の精査と、支援体制について方向性の検討が必要
	（障害）227件	B		
	R6			
	（障害）204件		具体的な協議を図っていく。人員及び人材の充実・強化を図る必要がある。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	432101	担当課室	高齢者福祉課 (障害支援室)		
事業名	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護業務				
事業概要	成年後見制度の周知・運用、関係団体のネットワーク構築、中核機関の設置など、高齢者や障害者など、立場が弱いとされている方の権利を守るための取り組みを推進する。				
R6の 取組内容	中核機関設置に向けて、庁舎内の福祉士が参集し、それぞれの職員のスキルアップ向上の勉強と、中核機関の役割について協議を重ねた。後見制度の周知は、アルツハイマー月間のパネル展示時、認知症支援の周知と併せて実施。また、包括社会福祉士が企画し、地域ケア実務者会議において、権利擁護（虐待）をテーマに研修会を開催。				
評価内容	評価指標	地域包括支援センター及び基幹相談支援センターにおける権利擁護関係相談数			
	R5	評価	A	評価理由	必要な周知活動・勉強会ができた。
	1,029件			今後の課題	全事業所が虐待防止の対応実施が義務化されており、定期的な勉強会の開催が必要。
	R6				
	1,801件				
事業No.	432102	担当課室	障害支援室 (高齢者福祉課)		
事業名	成年後見人等報酬助成事業				
事業概要	市長が成年後見制度に係る審判の請求を行った場合に、家庭裁判所が選任した成年後見人、保佐人及び補助人への報酬の支払に要する費用を助成する。				
R6の 取組内容	令和6年度は、市長申立ての助成の申請はなかった。				
評価内容	評価指標	成年後見人等報酬助成件数			
	R5	評価	B	評価理由	制度としては存在するが、助成対象が市長申し立てのケースに限られる。対象者の適正化を図る。
	0件			今後の課題	親族申し立てのケースに対する助成対象の検討
	R6				
	0件				
事業No.	432102	担当課室	高齢者福祉課 (障害支援室)		
事業名	成年後見人等報酬助成事業				
事業概要	市長が成年後見制度に係る審判の請求を行った場合に、家庭裁判所が選任した成年後見人、保佐人及び補助人への報酬の支払に要する費用の助成を行う。				
R6の 取組内容	成年後見人への報酬助成を実施（3件）				
評価内容	評価指標	成年後見人等報酬助成件数			
	R5	評価	B	評価理由	成年後見人等への報酬助成を実施
	3件			今後の課題	国から「市町村による適切な実施」について通知があり、対象者の拡充等の検討をする必要がある。
	R6				
	3件				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	432103	担当課室	障害支援室 (高齢者福祉課)	
事業名	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討			
事業概要	権利擁護の支援策として、自己の財産を家族に託し、あらかじめ定めた信託目的に従って、管理・処分・承継する「家族信託」や、日常的な支払をするのに必要十分な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常使用しない金銭を信託銀行等に信託する「後見制度支援信託」など支援策の活用を検討する。			
R6の 取組内容	特に取組なし			
評価内容	評価指標	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討の有無		
	R5	評価	評価理由	具体的な検討は行えていない
	無	C		
	R6		今後の 課 題	関係課で連携を図り、検討に着手すべきだが、人員体制が不十分である。
	無			
事業No.	432103	担当課室	高齢者福祉課 (障害支援室)	
事業名	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討			
事業概要	権利擁護の支援策として、自己の財産を家族に託し、あらかじめ定めた信託目的に従って、管理・処分・承継する「家族信託」や、日常的な支払をするのに必要十分な金銭を預貯金等として後見人が管理し、通常使用しない金銭を信託銀行等に信託する「後見制度支援信託」など支援策の活用を検討する。			
R6の 取組内容	成年後見市長申立てを実施した人の中で、多額の財産を保有している人がいた。家族信託や後見制度支援信託なども検討したが、本人が高齢で同居人が急死した状況から、早急な後見申立てを優先したため、実際には実施しなかった。			
評価内容	評価指標	家族信託や後見制度支援信託など権利擁護支援策の検討の有無		
	R5	評価	評価理由	実際に制度を利用した人がいなかったため
	無	B		
	R6		今後の 課 題	預貯金が多い方の場合、制度を利用する可能性がある。日頃から利用方法・内容を担当者が理解しておく必要がある。
	無			
事業No.	(431201) 432201	担当課室	障害支援室 (高齢者福祉課)	
事業名	<虐待対策の推進> 障害者虐待防止センターの設置【重複】			
事業概要	障害のある人への虐待を発見した人の通報や虐待を受けた本人からの届け出の受付窓口となる「障害者虐待防止センター」を設置する。			
R6の 取組内容	令和6年度は「障害者虐待防止センター」において、7件の相談を受け付け、障害者の安全確認や、障害福祉サービス事業者・医療機関などと連携しながら対応・支援方法を検討した。			
評価内容	評価指標	障害者虐待防止センターにおける相談件数		
	R5	評価	評価理由	センターにおいて、相談・見守り支援などを実施しているが、支援対象件数が増加する中、センター職員の人員配置の充実が求められる。
	10件	B		
	R6		今後の 課 題	人員配置の充実・強化。
	7件			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	432202	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	高齢者虐待防止法に基づいた高齢者虐待への対応・養護者支援			
事業概要	虐待通報を受けた場合、委託型包括支援センター職員による事実確認、市職員とのコア会議開催、調査結果の決定を行う。また、高齢者、養護者各々の支援について方向性を決め、虐待再発予防を図る。			
R6の取組内容	高齢者虐待通報を受けると委託型包括支援センターは迅速に対応する。市への報告、高齢者、養護者への確認と聞き取り、関係機関からの情報収集等を整理して、なるべく早い時期でのコア会議の開催を心がけた。必要に応じてケース支援会議などを行い、高齢者、養護者が安心・安全に支援できることを心がけて行動できることを勧めてきた。			
評価内容	評価指標	高齢者虐待の相談受理件数		
	R5	評価	評価理由	虐待通報を受け事実確認するまでは迅速に行動できることが多かったが、ケアマネ等が包括に通報することが遅れることがあり、初期行動が遅れることがあったものは判断に迷う場面が多くなり、反省点であった。
	33件	A		
	R6		今後の課題	地域包括の職員の初期対応のマニュアルに沿って、迅速に行動できるように、また、介護関係者も虐待に対する知識と通報の流れを習得できるようにする。
	29件			
事業No.	432203	担当課室	保健事業室	
事業名	子ども家庭総合支援拠点、子育て世代包括支援センター「すくサポ」の運営			
事業概要	子育て世代包括支援センター「すくサポ」及び「子ども家庭総合支援拠点」における虐待対策の推進。			
R6の取組内容	各種母子保健事業による対応、子育てコンシェルジュによる個別相談支援や保育所との連携。特定妊婦や養育困難・虐待に対する個別対応や支援会議の開催。その他、支援が必要なケースに対する対応。			
評価内容	評価指標	「すくサポ」相談件数・「子ども家庭総合支援拠点」相談件数		
	R5	評価	評価理由	随時相談対応をしていくことができた。
	529件・1,136件	A		
	R6		今後の課題	子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を維持し一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」を令和7年度に設置。改めて相談対応の充実に努める。
	433件・1,032件			
事業No.	432204	担当課室	保健事業室	
事業名	要保護児童対策地域協議会の開催運営			
事業概要	児童福祉法第25条の2に基づき、要保護児童等に関する情報交換や支援内容の協議を行う法定協議会を開催、運営する。代表者会議・実務者会議・個別支援会議で構成。			
R6の取組内容	代表者会議1回、実務者会議4回、個別支援会議19回の開催。			
評価内容	評価指標	要保護児童対策地域協議会の開催回数		
	R5	評価	評価理由	代表者会議、実務者会議はスケジュール通りに開催することができた。また、個別支援会議についても必要に応じて開催することができた。
	33回	A		
	R6		今後の課題	効果的な情報交換や支援内容の協議をするための会議運営をしていく。
	24回			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	511101	担当課室	都市整備室 (管財室)		
事業名	都市計画マスタープラン・公共施設等総合管理計画におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備				
事業概要	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備				
R6の 取組内容	特に周知等は実施していない。				
評価内容	評価指標	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備状況			
	R5	評価	評価理由	未実施	
	無	D			今後の 課 題
	R6				
	無				
どのようにしてバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備を展開していくか検討が必要である。					
事業No.	511101	担当課室	管財室 (都市整備室)		
事業名	都市計画マスタープラン・公共施設等総合管理計画におけるバリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備				
事業概要	すべての市民が快適で安心して日常生活が営める環境を整備するため、道路や公共施設などにおけるバリアフリー・ユニバーサルデザインを推進する。				
R6の 取組内容	R7.1.9 庁舎付属棟ほか1ヵ所自動フラッシュバルブ設置 R7.3.12 庁舎1階トイレ洋式化 庁舎1階トイレ自動フラッシュバルブ設置				
評価内容	評価指標	バリアフリーやユニバーサルデザインの周知・整備状況			
	R5	評価	評価理由	・庁舎付属棟ほか1ヵ所自動フラッシュバルブ設置工事 ・庁舎1階トイレ洋式改修工事 ・庁舎1階トイレ自動フラッシュバルブ設置工事	
	改修 (1回)	B			今後の 課 題
	R6				
	改修 (3回)				
庁舎別フロアの洋式化検討 課題、要望の抽出方法検討					
事業No.	(423201) 511201	担当課室	社会福祉室		
事業名	<住宅に配慮を要する者の住まいの確保> 生活保護事業【重複】				
事業概要	資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する。住宅扶助を含む。				
R6の 取組内容	生活保護制度(住宅扶助)に基づき、アパート、借家の家賃、借地料、更新料等や転居等による敷金等の支給により安定した住宅の確保を行った。また、住居を持たない方は、救護施設や無料定額宿泊所の利用も案内した。				
評価内容	評価指標	生活保護受給世帯数			
	R5	評価	評価理由	生活保護費（住宅扶助）は適正に支給され、安定的に住宅が確保されている。	
	591世帯	A			今後の 課 題
	R6				
	609世帯				
引き続き適正に生活保護費（住宅扶助）を支給する。					

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(423202) 511202	担当課室	社会福祉室	
事業名	<住宅に配慮を要する者の住まいの確保> 住居確保給付金支給事業【重複】			
事業概要	「離職」「自営業の廃止」又は「ご自身の都合によらない就業機会等の減少」により経済的に困窮し、「住居を喪失している方」又は「住居を喪失するおそれのある方」に対し、一定期間、家賃相当分の給付金を支給することにより、住居と就業機会の確保を支援する。			
R6の 取組内容	NPO法人socialmateに給付金の相談・申請受付業務を委託している。しかし、令和6年度は給付金の支給実績なし。			
評価内容	評価指標	住宅確保給付金支給件数		
	R5	評価	評価理由	支給件数は減少しているものの、潜在的なニーズは存在する可能性があるため、NPO法人socialmate及び市社会福祉協議会と連携しながら制度の有効活用を図る必要がある。
	2件	B		
	R6			
	0件			
事業No.	511203	担当課室	都市整備室	
事業名	公営住宅の提供			
事業概要	市営住宅入居者の公募・入居の許可			
R6の 取組内容	6月と12月に市営住宅入居者の公募を実施した。			
評価内容	評価指標	市営住宅入居世帯数		
	R5	評価	評価理由	新規入居世帯よりも退去世帯が多くなっており、入居世帯数が減少している。
	398世帯	B		
	R6			
	374世帯			
事業No.	511204	担当課室	都市整備室	
事業名	住宅セーフティネット制度における取組の検討			
事業概要	民間賃貸住宅を、住宅確保要配慮者（要配慮者）の入居を拒まない住宅として登録してもらい、要配慮者の方々へ提供してもらう「住宅セーフティネット制度」の取組を検討する。			
R6の 取組内容	住宅困窮者に対し、社会福祉室やちょうしサポートセンター等の福祉部門への連携を行った。			
評価内容	評価指標	住宅セーフティネット制度における取組の検討の有無		
	R5	評価	評価理由	福祉部門への連携は行ったが、多様化する住宅困窮者への居住支援に対応するための取組が必要である。
	有	B		
	R6			
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	511301	担当課室	障害支援室	
事業名	手話通訳者・要約筆記者の派遣			
事業概要	聴覚、言語機能、音声機能等の障害のために意思疎通の支援が必要な方へ、手話通訳者・要約筆記者を派遣する。これにより、障害者などの生きがいがづくりと社会参加の促進を図る。			
R6の取組内容	意思疎通の支援が必要な方が病院を受診する際に、手話通訳者の派遣を行った。			
評価内容	評価指標	手話通訳者・要約筆記者の派遣件数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施した。
	4件	B		
	R6		今後の課題	制度周知の充実を図る。
	7件			
事業No.	511302	担当課室	障害支援室	
事業名	自動車改造費用の助成			
事業概要	身体障害者手帳1、2級(上肢、下肢または体幹機能障害に限る)を取得した18歳以上の方が所有し、就労などに使用する自動車を、自ら運転するために必要な特別の構造や装置を備える改造を行うために必要な費用の一部を助成する。			
R6の取組内容	事業を継続して実施した。			
評価内容	評価指標	自動車改造費用の助成件数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施しているが助成申請がなかった。
	1件	B		
	R6		今後の課題	制度の周知を図る。
	0件			
事業No.	511303	担当課室	障害支援室	
事業名	障害者就労支援			
事業概要	生きがいがづくりや社会参加を促進するため、障害や疾患などの理由で働くことに困難がある人を対象に、就職し、働き続けられる過程を支援する。 （「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」「就労定着支援」）			
R6の取組内容	随時相談を受け、必要な就労支援メニューにつないだ。 「就労継続支援A型」事業所との情報共有とともに、ハローワークや東総就業センター等関係機関と連携を図った			
評価内容	評価指標	障害者就労支援件数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施した。「就労継続支援A型」の事業所ができたことで、昨年度に引き続き相談件数もかなり増加している。
	112件	A		
	R6		今後の課題	・就職後の継続的、安定的な就労支援。 ・相談支援体制の人員配置と強化
	483件			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	511304	担当課室	障害支援室	
事業名	社会福祉活動用機材の貸出			
事業概要	障害者の社会参加、地域住民の自主的・主体的な社会福祉活動を推進することを目的として、機材（カラーリングなどスポーツ機器など）を障害者団体・社会福祉活動団体に貸し出す。			
R6の取組内容	社会福祉活動用機材の貸出しを行った。 （貸出機器：スポーツ機器（カラーリング・ブラインドボール）、意思疎通支援機器（磁気ループシステム））			
評価内容	評価指標	社会福祉活動用機材の貸出件数		
	R5	評価	評価理由	利用実績が少ない。
	3件	B		
	R6			
	6件		周知方法の検討。（市HPには掲載済）	
事業No.	511305	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	生涯大学の周知・啓発			
事業概要	生涯大学の開催する公開講座や学生募集等について広報等で周知を行い、高齢者の社会参加を促す。			
R6の取組内容	広報（8・2月号）に公開講座について掲載。 広報（11・3月号）に学生募集（1次・追加）について掲載し、窓口にて願書の配付等を実施。			
評価内容	評価指標	生涯大学の周知の有無		
	R5	評価	評価理由	広報による周知を行い一定程度の効果があったが、ほかの周知方法を活用してさらなる周知を行う必要がある。
	有	B		
	R6			
	有		今後は広報のほかに公式LINE等の活用について検討する。	
事業No.	511306	担当課室	生涯学習室	
事業名	市民ふれあい講座の実施			
事業概要	市内の団体等が主催する集会等に市職員が講師として出向き、市政の説明、専門知識を生かした実習等の講座の実施			
R6の取組内容	「防災・減災について」、「消費生活『こんなトラブルにご用心』」、「マイナンバー制度について」、「介護保険と高齢者福祉サービスの概要」等、全62項目の講座メニューにより実施			
評価内容	評価指標	市民ふれあい講座の実施回数		
	R5	評価	評価理由	毎年講座メニューの更新作業を行っており、令和6年度は全62項目の講座メニューにより実施した。
	23回	A		
	R6			
	25回		今後も同様に市民ふれあい講座を実施する。	

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	511307	担当課室	生涯学習室 市民センター		
事業名	銚子市文化祭の開催				
事業概要	銚子市文化祭の開催				
R6の 取組内容	銚子市文化祭の展覧の部を10月5日、6日、12日、13日の4日間開催した。				
評価内容	評価指標	銚子市文化祭の参加団体数			
	R5	評価	評価理由	文化団体協議会が文化祭実行委員会となり、市民自ら文化祭を開催した。	
	48団体 (うち展覧7団体)	A			今後の 課 題
	R6				
	48団体 (うち展覧7団体)				
参加者が高齢化しており、減少傾向にある。また、新年度は大規模改修工事が予定されているため開催できるか未定。					
事業No.	511308	担当課室	市民センター		
事業名	市民センター主催講座・教室の開催				
事業概要	趣味・教養・職業知識など、一般成人対象を中心に各種講座を開設する。				
R6の 取組内容	趣味、教養、職業知識など成人教育を中心に各種講座を開催し、夜間の講座や、保険会社などと共同の講座を新たに開催した。				
評価内容	評価指標	市民センター主催講座・教室の開催回数			
	R5	評価	評価理由	平日昼間だけでは参加者が限られるため、新たに夜間の講座を開設したほか、保険会社や公証役場などと共同の講座も新たに開催した。	
	186回	B			今後の 課 題
	R6				
	169回				
講座参加者が高齢化しており減少傾向にあるため、参加が少ない若年層や男性が参加しやすい講座の開催を検討する。					
事業No.	511401	担当課室	障害支援室		
事業名	日常生活用具の給付				
事業概要	障害者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付又は貸与することにより、福祉の増進を図る事業。 (市町村が行う地域生活支援事業のうちの必須事業の一つ)				
R6の 取組内容	ストマ用装具などの日常生活用具の給付を行った。				
評価内容	評価指標	日常生活用具の給付件数			
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施した。	
	1,555件	B			今後の 課 題
	R6				
	1,675件				
必要に応じて給付品目や基準額などの見直しの検討。					

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	511402	担当課室	障害支援室 (高齢者福祉課)	
事業名	家具転倒防止器具等設置費用の助成			
事業概要	地震発生時等の被害を軽減するため、家具の転倒防止器具等の設置費用を助成する。			
R6の 取組内容	事業を継続して実施した。			
評価内容	評価指標	家具転倒防止器具等設置費用の助成件数		
	R5	評価	評価理由	事業を継続して実施しているが申請がなかった。
	0件	B		
	R6			
	0件			
事業No.	511402	担当課室	高齢者福祉課 (障害支援室)	
事業名	家具転倒防止器具等設置費用の助成			
事業概要	高齢者等の居宅における家具の転倒防止器具の設置に要する費用を助成し、地震発生時等の被害を軽減する。			
R6の 取組内容	市ホームページに周知の記事を掲載中。			
評価内容	評価指標	家具転倒防止器具等設置費用の助成件数		
	R5	評価	評価理由	ホームページに制度周知の記事を掲載しているが、令和6年度の助成件数が0件であり、事業の周知が不足していると思われる。
	0件	B		
	R6			
	0件			
事業No.	511403	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	住宅改修の助成			
事業概要	要介護または要支援の認定を受けられた方が住み慣れた家で自立した生活を送るために住宅の一部を改修する場合に介護保険サービスとして、対象経費（改修費用上限20万円）の一部を支給する。			
R6の 取組内容	市ホームページに制度周知の記事を掲載中。			
評価内容	評価指標	住宅改修の助成件数		
	R5	評価	評価理由	助成件数が前年度より増えている。
	182件	A		
	R6			
	201件			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	(221201) 512101	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	<地域ぐるみでの健康づくりの推進> めざせ！元気シニア講座の開催【重複】			
事業概要	地域の誰もが参加でき、介護予防に取り組む通いの場となる「めざせ！元気シニア講座」を開催する。			
R6の 取組内容	プラチナ体操の立ち上げを検討している団体に対し、地域の現状や一般介護予防の必要性を講義し、プラチナ体操の体験を行った。			
評価内容	評価指標	めざせ！元気シニア講座の開催回数・参加人数		
	R5	評価	評価理由	講座を6か所で実施し、新規に5か所のプラチナ体操団体が立ち上がった。
	2回・32人	B		
	R6	今後の 課 題	プラチナ体操新規団体発足の為、立ち上げ未地区などに対し積極的に開催していく。	
	6回・47人			
事業No.	512102	担当課室	高齢者福祉課	
事業名	銚子プラチナ体操実施団体への支援			
事業概要	住民グループが地区の会場などに集まり、主体的に行う筋力アップ体操（プラチナ体操）の実施団体を支援する。			
R6の 取組内容	基幹型・委託型地域包括支援センターと協力し、既存団体へ連絡や訪問などきめ細かく実施。各団体を訪問し、プラチナ体操の指導の他、体力測定や脳トレなどの指導も実施。各圏域ごとの交流会を開催した。			
評価内容	評価指標	銚子プラチナ体操実施団体数		
	R5	評価	評価理由	解散団体はあったが、新規立ち上げが増えたため、団体参加者数を増やすことができた。
	52団体 (毎週・隔週)	A		
	R6	今後の 課 題	参加者が継続して参加できるよう引き続き支援していく。また、プラチナ体操の周知を行うために講座などを開いていく。	
	56団体 (毎週・隔週)			
事業No.	512201	担当課室	保健事業室	
事業名	食育推進計画事業の推進			
事業概要	市民一人ひとりが、「食」について学び、食生活の改善や食の安全性への意識を高め、「食を通じた健康づくり」をめざして、「食育」の推進を図る。			
R6の 取組内容	・乳幼児健診および特定健診の事後指導等で、食生活の改善が図れるよう、教育、相談等を実施した。 ・食生活健康推進員が市民の健康増進が図れるような活動ができるよう、支援、育成した。			
評価内容	評価指標	食育推進計画事業の推進の有無		
	R5	評価	評価理由	乳幼児健診時の栄養相談および特定健診の事後指導の他、栄養教室等を開催し、市民の食生活改善が図れるような事業を開催することができた。食生活改善推進員が円滑に活動できるよう、必要な支援、育成を行うことができた。
	有	B		
	R6	今後の 課 題	一部の事業で、参加者が固定化されているため、事業を広く周知し、参加者を拡大することが必要。	
	有			

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	512301	担当課室	保険年金室 (高齢者福祉課・保健事業室)		
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施				
事業概要	75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。				
R6の取組内容	(ハイリスクアプローチ) ①健康状態不明者の実態把握、②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防、③多剤重複服薬支援 (ポピュレーションアプローチ) ブラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施				
評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施			
	R5	評価	A	評価理由	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	今後の課題			
	R6				
	有				
事業No.	512301	担当課室	高齢者福祉課 (保険年金室・保健事業室)		
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施				
事業概要	75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。				
R6の取組内容	(ハイリスクアプローチ) ①健康状態不明者の実態把握、②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防、③多剤重複服薬支援 (ポピュレーションアプローチ) ブラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施				
評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施			
	R5	評価	A	評価理由	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	今後の課題			
	R6				
	有				
事業No.	512301	担当課室	保健事業室 (保険年金室・高齢者福祉課)		
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施				
事業概要	75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者を対象とし、健診・医療・介護レセプトデータ等の分析を行い、地域の健康課題の把握及びフレイルハイリスク者を抽出し、一体的にフレイル・介護予防に取り組んでいく。				
R6の取組内容	(ハイリスクアプローチ) ①健康状態不明者の実態把握、②低栄養、オーラルフレイル、生活習慣病重症化予防、③多剤重複服薬支援 (ポピュレーションアプローチ) ブラチナ体操にてフレイル予防の健康教育実施、地域イベントにおいて健康相談実施				
評価内容	評価指標	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施			
	R5	評価	A	評価理由	ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチそれぞれの取組について、年間スケジュール通りに円滑に実施することができた。
	有	今後の課題			
	R6				
	有				

地域福祉計画取組状況確認票（R6）

事業No.	512302	担当課室	保健事業室	
事業名	健康増進計画事業の推進			
事業概要	市民が生涯を通じて心身の健康を維持・増進できるよう、市民と行政、関係機関が一体となって、健康づくりに取り組むため、健康増進計画事業を推進する。			
R6の 取組内容	検（健）診周知：広報・ホームページ・銚子市公式LINEを活用した。また、ライフステージに合わせた受診勧奨通知や、未受診の方へ再受診勧奨通知を行った。8月1日からWebシステムによる検診申し込みを開始した 特定保健指導：一部の医療機関で特定保健指導の委託を行い受診者の利便性を図った。			
評価内容	評価指標	健康増進計画事業の推進の有無		
	R5	評価	評価理由	健康増進策の一環として、様々な手法で検（健）診の周知を行ったことで受診数が増加傾向にあるが、まだ、新型コロナ流行前には戻っていない。
	有	B		
	R6			
	有		検（健）診の申込は電話や当課窓口の他、8月1日からWebシステムにより検診申込を開始した。年度途中からの開始のためR7年度はWebシステムによる申込について周知を図る。	
事業No.	512303	担当課室	保健事業室	
事業名	食生活健康推進員の活動支援			
事業概要	・地域住民と行政のパイプ役として市民の健康の保持および増進に寄与し、自主的に活動する食生活健康推進員を育成する。 ・安定的活動ができるよう補助金を交付し、財政的に支援する。			
R6の 取組内容	・推進員主体の学習会（活動のための打合せ）や理事会に出席し、効果的な活動ができるよう支援した。 ・円滑な協議会運営や補助金の適正化運用ができるよう、支援し、必要時は改善を求めた。			
評価内容	評価指標	食生活健康推進員の活動支援の有無		
	R5	評価	評価理由	主体的な活動や協議会運営ができるよう、支援、育成ができた。
	有	B		
	R6			
	有		推進員が主体的に活動ができるような育成の継続が必要。	